

福祉情報誌

編集/社会福祉法人AJU自立の家
福祉情報誌発行委員会
発行/AJU車いすセンター
AJU自立生活情報センター
連絡先/〒466-0015
名古屋市昭和区御器所通3-12-1
AJUリサイクル相談事業部内
TEL (052) 851-0059
FAX (052) 851-0159

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

AJU自立の家

第67号

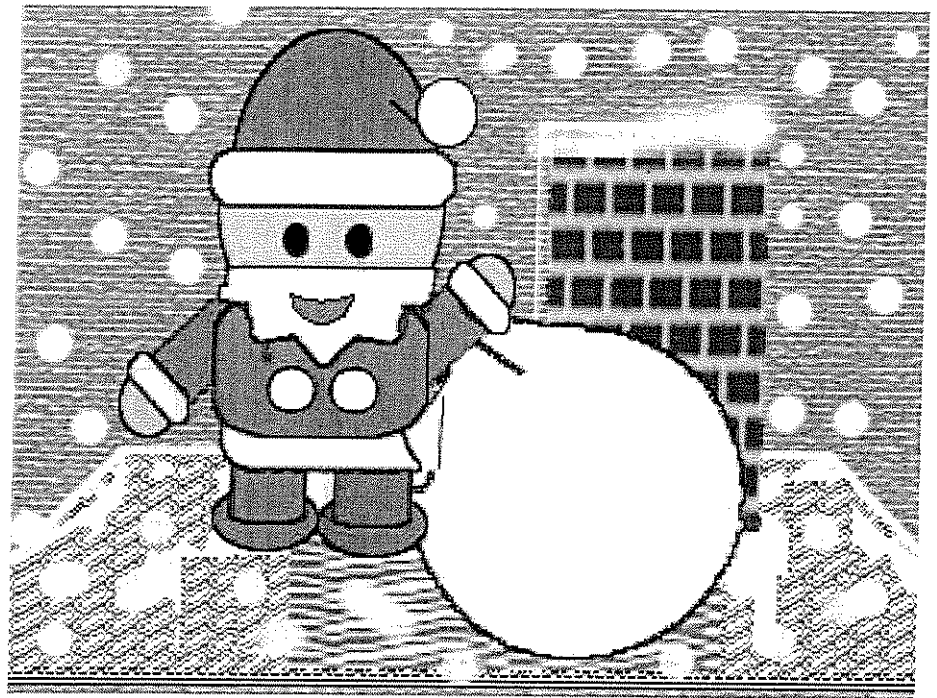
2003年12月10日号

定価 **250円**

平成15年12月23日(火) 通刊6007号 AJU自立の家
昭和54年9月10日 第三種郵便物許可
発行所/東海身体障害者団体定期刊行物発行協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター4F

テーマ

クリスマス



はじめの一歩をふみだしたあなたへ

- 特集 『活動、ひと紹介』第3弾… 1
「本誌発行母体の山田昭義さん」
- さつきの突撃体験レポート …… 7
「脳性まひの二次障害 続編」
- でっちゃんの突撃取材レポート… 12
「会話補助装置を補装具扱いに！」
- 福祉制度情報 …… 16
「支援費制度、100億円も不足！」
- ちかときよんのレポート …… 19
「バリアフリーフォーラム」
- かつみのお出かけ情報 …… 21
「楽しいクリスマス特集♪」
- かつきのページ …… 23
- トラベル情報 …… 24
「オーロラツアー」「沖縄ツアー」
- お宿情報第19弾 …… 26
「高山グリーンホテル」
- グルメ情報第30弾 …… 27
「キッチン飛騨」
- 福祉用具情報 …… 28
- 読者の声 …… 29
「MOVEプログラムに参加して」
- いろいろ情報 …… 31
「日本の伝統芸能を鑑賞しませんか？」
「ビックカメラ」「医療情報」
「新幹線品川駅開業」

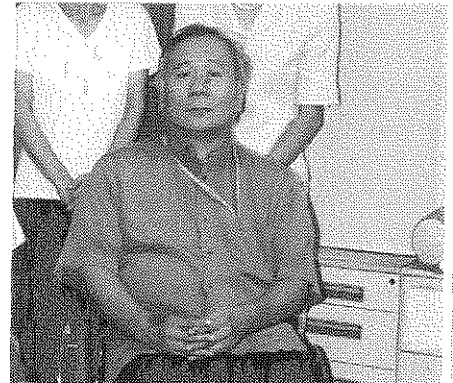
L I F E

本誌発行母体の常務理事

山田昭義さんに聞きました！

本誌を発行して10数年となりますが、読者の方々から発行団体の紹介をして欲しいという要望をいただきました。おくれればながら、今号で紹介させていただきます。

楽しくなければ福祉じゃない！を合い言葉に、障害者運動をし続けるAJU自立の家。誰もが住める福祉のまちづくりの活動に取り組んでいる「愛知県重度障害者の生活をよくする会（以下、よくする会）」。双方の発足に深く関わってこられた、AJU自立の家 常務理事 山田昭義さんに、ご自身のことや障害者運動のこと、今までのこと、これからのことをお聞きしました。インタビュアーは、編集委員の“いづみ”（頸髄損傷）と“ちか”（リウマチ）です。



★ 受傷から、施設入所まで ★

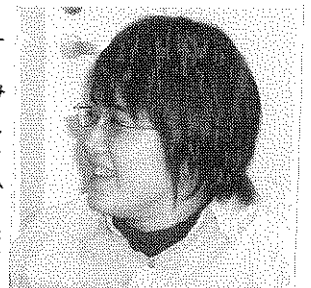
山田昭義さん（現在61歳）は、15歳のとき、海に泳ぎに行き受傷し、頸髄損傷に。それ以来、四肢まひになられたということですが、当時のことを少しお聞かせください。

山田：名古屋市の済生会病院に10年間入院していた。3年間寝たきりの生活で病室の窓から見えるカトリック教会が唯一、外の世界だったな。歩けるようになったら行ってみようと思った。障害を持つと人によっては死にたいと考えたりするみたいだけど、自分は考えたことがなかった。ただ、これから、どうなるのだろうとは思った。5年目に教会へ出掛けることができ、そのとき神父様から「あなたがそういう身体になることによって、神様があなたの近くになったのですよ」と。ケガをして、「よかったですね」と言われたのは初めてのことで、とても驚いたが、印象に残る言葉だった。

希全寮（重度身体障害者更生援護施設）に入られたそうですが、どのような生活でしたか？

山田：退院後、施設へ入所した。規則は厳しかったな。午前中は訓練があり、自分がアパルト（補装具）を付けて、施設の外へ歩行訓練に行くときは5人ぐらい入所者がついてきた。施設の外へ行くということがなかったからなんじゃないかな。今みたいに専門の指導員はいない。

ある日、タイプライターを見つけて、教本を読みながら練習し文章が打てるようになった。職員からタイプを打ってと頼まれることもあった。



すると、他の利用者もタイプをやりたいということになり、タイプライターを先に取りられてしまって…。そこで、思いついたのが、自分は新聞をとっていたので、「タイプライタ

「一が欲しい」と投書すると、寄付してくれる人がいた。また、それをみんなが真似するんだ。これで、食べることには困らないと思った。施設というところは職員の都合ですべて決まる。起床や就寝の時間など365日同じ。親、兄弟が会いに来ない入所者に職員が、「なぜ、自分たちが面倒をみななければならない?」「正月ぐらい家に帰れよ」と言う。親がいる家は、まだいいけど、兄弟しかいない家には帰りづらい…。

Q：希全寮でよかったことは、何ですか?

山田：友だちができたこと。二人の人と気が合って仲よくなった。のちに、障害者運動をずっと一緒にやっていくことになる中村^{つとむ}力（通称りきさん）はその一人。施設に内緒で電熱器を持ち込んで飲み食いしたり、夜遅くまで話し合ったりした。力さんは毎晩大きな声でお経を読んでいたな。不思議な人。

★ 自分の生き方を模索 ★

Q：高校や大学時代のことも教えて下さい。

山田：20歳のとき、母親に「遊んでばかりいないで、これからどうしていくの?」と聞かれ、どうしようかと思った。愛知県でただひとつの通信教育に申し込んだが、「病気が治ってからにしてください」と、門前払いだった。その後、NHK学園（通信教育）ができることを知り、そこへ行くことができた。（昭和38年卒業）

大学については、初めは翻訳の仕事なら障害を持っていてもできると思い、英文科を考えたが、入院先で一緒だった人から、「世の中は法律で動いている」と言われ、中央大学を勧められた。名古屋の方には、法学部はなかったと思う。希全寮に入るとき、勉強の時間は認めてもらったが、訓練ということで朝早くたたき起こされるので、障害を持った身体では、とても大変だった。

大学は神田駿河台にあった。「通えるかな?」とか、「下宿先は見つかるかな?」と思ったが、母は、“一生懸命やっていればなんとかなるわ”という考え方の人で、松葉杖について東京へ手続きに行った。入学の時大学からは、「あなたのために特別なことはできない」「念書を書いてください」と言われた。下宿先は、教会の神父さんや学生さんに探してもらい、学校から200mぐらいのところに見つかった。



母が介助者として一緒に東京に言ってくれた。4畳半一間の部屋で炊事場と便所は共同だった。便所は入口に段があった

ので使えず、おまるを使っていた。風呂はないので、銭湯に一週間に一度通った。3時から開くのでそれに合わせて行った。脱衣所など、ひじをついて足は母にちょっと持ってもらってね。入れ墨のおじさんなどが手伝ってくれた。

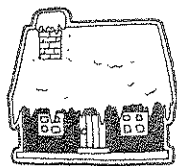
朝は車いすを押してもらい、週三日学校へ通った。授業は4階であり、母に背負ってもらって上がった。車いすと教科書も別々に上げてもらった。階段に手すりはなかったな。2階からE.V.が付いていたので、1階からエレベータを付けて欲しいと言ったら、念書を見せられた。あのときはつらかったなあ。



大学卒業後のことで就職課に行ったときも、また、その念書を見せられたな。夏休みにリハビリ施設に通って、母に支えてもらいながら松葉杖をついて階段を一段ずつ上がれるようにした。大学で「手伝いましょう」と言われたのは、一度だけだった。

Q：大学卒業後はどのようなことをされたのですか？

山田：都立のリハビリセンターへ週に二回通っていた。就職のことでそこへ相談に行ったとき、「名古屋に戻って、障害者運動をや



って行って欲しい」と言われ、いろいろ考えたが名古屋に帰ることにした。名古屋の職安に行ったとき、「健常者でも仕事がないのに、車いすの人に仕事があるわけがない」と障害者担当の人から言われた。障害者担当の言うことか？まじめに仕事をしると憤慨した。

Q：学習塾をされていたと聞きましたか。

山田：近所の人から、「大学を出たのならと、こども（小学生）の家庭教師を頼まれるようになった。勉強をみていた子の成績が上がって、それが口コミで広がって、15年ぐらいかな？学習塾をやっていた。

平日は塾をやり、友だちとは土、日に集まった。土曜日の夜、みんなで深夜映画を観て、駅前でラーメンを食べて、帰りは朝方になったりしたな。

そんな中で、希全寮で友達になった“カさん”が、「会づくり」「運動づくり」の力になってくれた更生相談所の人と知り合った。それから、仲間ですぐ市営住宅に住んでいる人が

いて、段差が多く這いずって移動するしかなくて、褥そうができて困っていた。市へ改善の要望書をだすことになったが、どのように書けばよいかと自分のところに話があり、教会の外郭団体の“愛の実行運動”（頭文字をとってA J U）へ相談に行くと、「個人で出しても効果はない」と助言され、それをきっかけに、「勉強会をしよう」「会をつくろう」ということになった。希全寮の仲間や瀬戸の仲間と昭和48年9月「よくする会」を結成した。

★ 街に出よう！ ★ ～運動のはじまり～

Q：「愛の実行運動（A J U）」の理念を持つ障害者運動とは？

山田：「楽しくなければ福祉じゃない！」「楽しく生活できるようにしよう！」と、街に出ていくことをやった。そして、A J Uと出会った。障害者のために何かしてやるということではなく、「みんな同じなんだ、兄弟として付き合おうよ」という考え方だったので、宗教に関係ない人にも受け入れられた。みんなが一人の人として認められた。自分も人のために働けると思った。僕は車の免許を持っていたので、車を運転して移動手段を持たない仲間の送迎をした。障害を持っている人が、もっと重い障害を持った仲間のために手伝えた。それがA J Uだった。



Q:「よくする会」の運動
「街へでよう」の意味するものは?

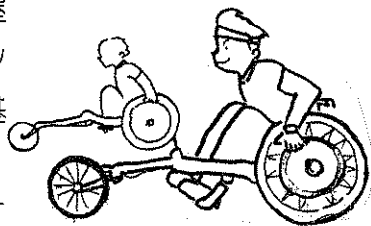
山田: 昭和48年9月、仙台で車いす市民全国集会有った。これは、全国の車いす障害者運動の草分けだと思う。「よくする会」からは5名が参加した。この集会有「生活権拡大運動」ということがメインテーマだった。

名古屋にはまだ一箇所も車いすトイレがなかった(名古屋市重度身体障害者更生援護施設「緑風荘」を除く)が、仙台市には駅や百貨店に車いすトイレがあった!それがとても刺激になった。

当時は車いすを見たことがない人が多かったから、周りはどうしてよいかわからない。僕たちをジロジロ見る子供に、「見てはいけないよ」「悪いことをしたから、あんなふうになったんだよ」と言っていた時代。車いすの人も、自立できない時間、曜日を選んで出かけていた時代。

しかし僕たちは、「そんなことではダメだ!」と思い、わざわざ人出の多いときを選んで東山動物園へみんなと行ったり、新幹線で京都に出かけたりした。毎年、栄の真ん中で開催している名古屋シティ・ハンディマラソンもそうした考えに基づいている。

街は段差だらけだけれど、車いすを利用している僕たちが街に出て段差で困っていれば、誰かは手伝ってくれた。そして、手伝ってくれた人は、きっと家に帰ってこんなことがあったよと話すでしょう。“トイレがないから行かない”のでは何も変わらない。まず、自分が出て行く、そうすることで社会が変わるだろう。でも、どうしても変わらない部分は行政にやってもら



障害があるからかわいそうなのではなく、障害者を差別する社会がかわいそうなのではないか。段差をなくしたりスロープにすれば、みんなと同じように動ける。

★AJU自立の家の目ざすもの★

< AJU自立の家グループの沿革 >

昭和48年 「愛知県重度障害者の生活をよくする会」(通称よくする会)結成

昭和50年 車いすセンター(車いすの無料貸出、社会啓発活動、自立生活相談等)開設

昭和59年 わだち作業所開設(コンピュータを使って働く場所)

平成元年 社会福祉法人AJU自立の家設立

平成2年 福祉ホームサマリアハウス(障害を持つ人の下宿屋)、デイセンターサマリアハウス(ひとやものに出会う場所)、わだちコンピュータハウス(身体障害者通所授産施設)開設

平成5年 名古屋マック・ピートハウス(アルコール依存症の当事者施設)開設、リフトカー運行事業受託、自立支援事業受託、**福祉情報誌創刊**

平成9年 ぴあ名古屋(福祉機器を販売する作業所)、自立生活情報センター(**情報誌の発行元**)開設

平成12年 介護保険事業所ほかっと軒(ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所)、車いすセンターレンタル事業部開設

平成14年 障害者地域生活支援事業受託、障害者講師派遣事業本格開始

平成15年 ヘルパーステーションマイライフ開設(支援費事業対応)、知的障害者通所授産施設ぴあ名古屋開設(福祉機器の販売とワイン製造販売)



Q：これまで、様々な運動をされてきて、「AJU自立の家」ができたのですが、自立の家が目指しているものとは？

山田：どんなに重い障害を持っていても、寝たきりになっても、生まれてきてよかった、生きていてよかったと言える社会をつくりたい。施設の中ではなく地域社会の中で生活していけるということを、障害者が社会で実践していく。昔は、介助を受けると自立じゃないと言われたが、自分のことは自分で決め行動し責任を持つことができれば、それは自立していると言える。自分にできないことをやってもらうのは当たり前のこと。

Q：障害者が“福祉の担い手になる”というのは、どのようなことですか？

山田：制度として創っていけば、社会人として一緒に生きていける「社会」になるのではないか？障害者として生きるというより、一人の市民として社会を構成する、担っていくという考え方。障害者という特別な存在ではなく、また、自分は障害者なんだからとヘンに頑張らず、障害を持ついるからこそわかる必要なことを自ら整えていく。例えば制度をつくっていく、そういうことで、1人の人間として社会で自立して生きていける。サービスを受けるばかりでなく、これからは、そういったことを必要としている人たちや社会へ返していくことができる。



Q：これまで、ずっと、障害者運動を続けてこられた中で、どのようなことが重要なこととして思い出されますか？

山田：トイレの話からすると、導尿をするようになり失禁は少なくなった。それまでは出かけるときは失禁セットを持ってでた。一度、持ってでることを忘れ、そのときは大変だった。失敗したこともあるが、始末をしてくれる人がいた。感謝の気持ちでいっぱいだった。これまで、多くの人と出会って、多くの人に支えられてきた。声をかけたら手伝ってくれた。自分のことだけではなくみんなの声として、社会を変えていこうと思った。



大きな出会いとしては、初期のよくする会の運動を物心ともに支えた「朝日新聞名古屋厚生文化事業団」。よくする会の勉強会の講師としてずっと参加された「日本福祉大学の児島美都子先生」。福祉ホームは障害者の下宿屋であること、下宿屋は、そこに一生住む所ではなく、卒業するものという提起をされた寛仁親王殿下との出会い。この提起がAJUの福祉ホームの概念になった。



Q：よく、当事者がやっていくことが大事と言われていますが、それはなぜですか？

山田：支援費制度になって、「機能障害に起因する能力障害」の多くは、カバーできるようになったと思う。文が書けなければ書けるヘルパーに頼めばよい。必要があるなら、できない部分をヘルパーに頼んでやってもらえる。今後は、一人ひとりの「生き方、生きる



いつみ感想

ための能力’が問われるだろう。ぴあ名古屋は、知的障害者のことも始めた。身体障害も知的障害も変わりはない。身体障害は「話すことができるから…」と知的障害者の家族は言ってきた。聴覚障害や視覚障害についても知らないことが多い。当事者にもっと、自分のことを話してもらうことが大事。

障害者は介助される人、ヘルパーは介助する人と、離れていってしまった人たちもいる。福祉に不満がある健常者が障害者を利用している場合もある。利用されるのではなく、当事者主権でやっていくこと。これからは、当事者運動がもっと必要になっていく。それから、世界的なことでは障害者権利条約の制定、国内的には障害者差別禁止法の制定を目指していく。

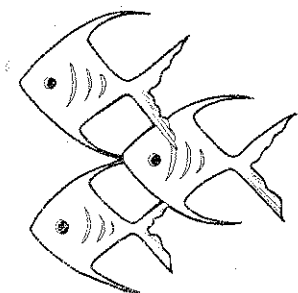
※山田さんとコンビで障害者運動を続けてこられた中村力さんは、今年の秋、永眠されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

もっともっと、深く活動について 知りたい方へ。

■「自立を選んだ障害者たち 愛知県重度障害者の生活をよくする会のあゆみ」
山田昭義編著／愛知書房／2000円＋税
※山田昭義さん、中村力さんをはじめとして、自立の家に関わってきた人たちのことやいろいろなことが詳細なデータ付きで紹介されています。また、障害者運動についても、年代別にまとめられています。

■ホームページのご案内

<http://www.aju-cil.com>



私は小学6年のときに頸髄損傷になり、約半年入院したあと、自宅での生活が難しいため中学1年から療護施設に入ることになりました。学校は隣接されていた養護学校に入学。施設では、毎日決められている日課にそって、同じ敷地内で同じメンバーと同じように過ごす生活でした。今当時を振り返ってみると、療護施設と養護学校での生活は、外からの情報がほとんどなく、施設を出て社会に出たときに必要な経験ができないまま過ぎていった気がします。またそれをおかしいとも思うことなく、将来に希望もないまま。高等部を卒業して、次に入った訓練施設で自分と同じ障害をもつ仲間に出会って、わたしは少しずつ色々な経験を重ねていくようになりました。情報の大切さを知り、AJUに出会い色々な人たちと知り合っ、障害があっても高齢になっても地域で当たり前の生活ができるように、今与えられている仕事を続けて行けたらと願っています。



ちか感想

私は小学5年のときに慢性関節リウマチに。小学6年の後半からは、ほとんど学校へは通えなくなり、入院、通院の日々でした。障害を持つと年相応の経験ができなかったり、その代わりに？親と一緒にいる時間が長くなります。5年ぐらい前から電動車いすのユーザーになって、あちこち出かけられるようになって、いろいろな人と関わることができ、自分の生活がずいぶん変わりました。特に子どものときに病気や障害を持つと、社会って何？という環境になってしまいましたが、それはおかしなことですよ！今回話をお聞きして、障害を持ってても年相応の経験ができるように、また、社会の一員として生きていける世の中になるように、自分でできることをしていきたいと思いました。

脳性まひの二次障害 続編

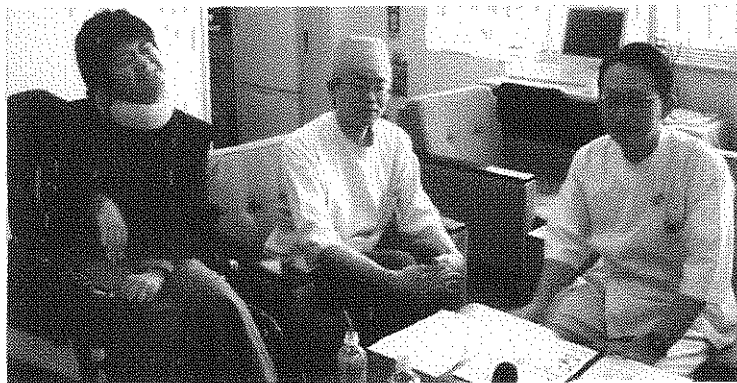
愛知県コロニーの先生にインタビュー

こんにちは、さつきです。私は5年前、二次障害で首の手術をしました。その時、私自身情報があまりなくて困ったので、脳性まひの二次障害で悩んでいる人たちへ向けて、治療法などの情報を届けたいと思っています。



前回の本誌65号で、MAB法という治療をしている人を紹介しましたが、もう少し詳しく知りたいと思い、愛知県心身障害者コロニー中央病院で、実際に障害を持っている人の治療を行っている先生方（麻酔科の重見先生、水野先生、整形外科の伊藤先生）にMAB法、ボツリヌス療法についてお話を伺って来ましたので紹介します。

麻酔科の先生に聞きました



**Q1: この治療は簡単に言うとどのような治療ですか？
（痛み止めの注射と同じ？）**

A1: 局所（きょくしょ）麻酔薬のリドカインと濃度を薄めたアルコールを緊張した筋肉に注射することでその筋肉の収縮を抑え治療する方法です。痛み止めの注射とほぼ同じです。

Q2: この治療はいつ頃から行っていますか？

A2: この病院では4年程前からです。京都府立医科大学ペインクリニックで痙性斜頸（けいせいしゃけい）を治療していて、その治療法の一つとして京都大学医学部神経内科でMAB法を教えてもらい、こちらの病院に来てからは脳性まひの患者さんにも治療するようになりました。※ペインクリニック 痛みの治療をするところ

Q3: 男女、年齢、緊張の具合で治療の違いはありますか？

A3: 体の大きい人 筋肉の多い人などは薬の量を多くしたりします。ボツリヌス療法と同様にすでに縮んでしまった筋肉は伸びません。体型など考慮していますが、やってみないと分からないというところもあります。状態を観察しながら注射を打っています。



**Q4: 一回治療を受けるのにどの
くらいの時間がかかりますか？**

A4: 緊張の強い筋肉を診て複数の部位に注射します。一回の注射は30秒位です。休憩を入れると全体で約20～30分で、終わればそのまま帰ることができます。



Q5: 薬の量はどれくらいですか？

A5: 身体や筋肉の大きさによりますが、だいたい5～20ccです。前腕には少量、肩には多めにというふうに量を変えます。

**Q6: 今まで脳性まひの人をどれく
らい治療しているのですか？**

A6: この病院に来てからはまだ5～6人です。

Q7: 副作用はありますか？

A7: アルコールを入れるので、子供やお酒に弱い人は顔が赤くなり、酔っぱらうことがあります。薬が身体に合わなければ、他の薬と同様に、血圧低下や呼吸困難などのショック症状が起きる可能性は否定できませんが、これは、どんな薬でも注射する時には可能性のあることです。たとえば蜂に刺されたときにショック症状が起きてしまうことがありますよね。

**Q8: 効き目の評価は？今まで脳性
まひの人を治療して効き目がない
人もみえますか？**

A8: 個人差が大きいと思います。子供で効果

が長続きしない患者さんがみえました。注射した直後は効果がでますが、それが何日あるいは何週間持続するか予想することは困難です。効果の評価については、客観的には変化がなくても、ご本人が効いていると自覚している患者さんもみえます。多くの場合、最初は1週間に2～3回で始め、月1回様子を見ながら続けていきます。

**Q9: 最初にMAB法を始めたのは
どの病院ですか？**

A9: 京都大学医学部附属病院だと思います。

**Q10: 日本でこの治療を行っている
病院は他にもありますか？**

A10: 京都大学医学部附属病院神経内科や東京女子医科大学脳神経外科等が良く知られた所だと思います。

Q11: 海外の状況は？

A11: 海外の文献を検索しても見あたりません。MAB法よりボツリヌス療法の方が効果がよいので、海外ではおそらくやっていないのではないかと思います。



**Q12: なぜこの治療に興味を持た
れたのですか？**

A12: はじめは痙性斜頸(けいせいしゃけい)の治療が目的で、MAB法を採用しました。こちらの病院に赴任して、脳性まひの患者さんにも応用できると考えました。

Q13: MAB法からボツリヌス療法へ治療が変わっていくと聞きましたが、そのあたりを聞かせて下さい。

A13: MAB法は何度か注射すると筋肉が硬くなったり、コリや痛みが生じたりすることがあります。効果もボツリヌス療法より劣ります。痙性斜頸（けいせいしゃけい）はボツリヌス療法の保険適応ですからそちらで治療します。2年前にボツリヌス療法の講習会があり、整形外科1名、麻酔科2名の医師が受講して準備したのですが、患者さんからのリクエストが少ないのが現状です。注射は痛いと思って敬遠しているのでしょうか？ボツリヌス療法を希望されるか否かも含めて、患者さんや家族と相談しながら脳性まひの症状に対処していきたいと思っています。



Q14: ボツリヌス療法は始めているのですか？

A14: 始めています。眼瞼痙攣（がんけんけいれん）痙性斜頸（けいせいしゃけい）など保険が適応されますが、手足などは保険が適応されません。

Q15: 脳性まひの人に対してボツリヌス療法を行う上での問題点がありますか？

A15: 注射後、心停止で亡くなった症例が1例報告されていますが、ボツリヌス注射液との因果関係は不明です。仮に治療する量の注射液を直接静脈内に全部注入しても、薬剤の直接作用で呼吸停止や心停止を来すことはないと思います。

Q16: 他に障害を持っている人に対して取り組んでいるものはありますか？

A16: モーターポイントブロックなどです。MAB法は筋肉内に薬液を注入して筋肉の収縮をブロックしますが、筋肉に収縮する命令を送る神経をブロックする方法として、モーターポイントブロックという注射があります。これは脊髄から伸びてきた神経が、筋肉に潜り込む点を捜してそこに注射する方法です。

Q17: どうして麻酔科で治療するのですか？

A17: 神経筋疾患の専門家である神経内科で治療されるのが最善と思います。しかし、使用する局所麻酔薬や注射の手技は麻酔科医でも慣れているので、痛みの治療の応用として行っています。麻酔科医は手術中、眠らせて痛みを除くだけでなく、体動の抑制や反射の制御なども行っています。その技術もこれに応用できます。

整形外科の先生に聞きました

Q1: ボツリヌス療法は始めているのですか？

A1: 脳性まひの人にももちろん効果があるので、使用してよいと思いますので、希望があればやっています。不随意運動がある人も特に首など、とても効果があるのではないかと考えています。実際に不随意運動がある成人には、まだやった例はありませんが、お子さんでやった例はあります。すごく緊張が強くて首が強く反り返ってしまうような症状で、注射により1か月程度はとても調子よく過ごせました。

Q2:実際に脳性まひの人に対してボツリヌス療法を行う上での問題点がありますか？

A2:薬効は特に脳性まひの人だからといって問題点はないと思います。薬の量としては最初は少なめで、徐々に効果をみながら増やしていく事になると思います。経過が長い人、特に成人だと普通の痙性斜頸（けいせいしゃけい）でも効果が出にくいと言われていて、全く効かない訳ではないですが、完全に不随意運動がとれてしまう事にもっていくのは、ちょっと難しいと言われていています。これから実際に治療していく事で、もう少しはっきりしたデータが出てくるとは思います。今の時点ではデータが少ないというのが実情です。しかし、総合的に考えると、手術をためらっている方や、手術を避けるためにも症状を和らげたいという方は、この治療法を試す価値はあると思います。総合的に考えあわせると、手術で神経や筋肉の処置を行う前に、この治療を試すことはよい考えであると思います。

Q3:他に障害を持っている人に対して取り組んでいるものはありますか？

A3:患者さんからの希望次第で相談があれば対処できるよう、少しでも楽になるように検討します。脳性まひと一言で言っても患者さんごとに症状のバリエーションがあり、外に出て社会活動される人、家に閉じこもっている人、施設入所 通所されている人、それぞれの生活のスタイル 活動範囲によっても違うと思うので、患者さん次第だと思っています。個々に対応していくしかないと思っています。

Q4:この病院の患者さんの対象は？

A4:設立当初は、いわゆる障害の予防、障害に対する外科的治療、リハビリテーションを含む総合的診断治療および障害の合併症に対する治療が目的でした。その後30年以上経過し、遺伝子の解析が進み、病気や障害の概念が変化し、障害者を取り巻く社会も変化しました。現在は、「人間の発達に関する医療を提供する」ことが目的となっています。ですから、赤ちゃんや子供が多いのですが、成人の脳性まひや二分脊椎、自閉症、ダウン症、筋ジストロフィーなどの患者さんもたくさんいます。

Q5:小児の脳性まひの人に対してボツリヌス療法を行う上での問題点がありますか？

A5:子どもでも緊張が強い場合、ボツリヌス療法を選択肢の一つとして良いと思います。しかし、まだ厚生労働省が正式に使用を認めていない現状では、重症の患者さんに対して、筋肉が拘縮する前に家族の納得を充分得た上で、ボツリヌス療法を行うべきでしょう。厚生労働省の認可の問題とは別に、子どもの時からボツリヌス注射を一生続けると、これに対する抗体ができて効果がなくなるのではないかという懸念があります。この治療法は歴史が浅く、長期使用の経過についての報告は世界的にもありません。アメリカでは痙性斜頸（けいせいしゃけい）の場合で、年に2～3回のボツリヌス注射で症状がコントロールできるのなら良い治療法であるという評価です。また、注射の量も試行錯誤で、たとえば首だけという狭い限られた範囲だと、効果ははっきりわかるのですが、首から背中全体に緊張のある人など、対象となる筋肉が広い範囲にある人では、どこにどれだけ注射すればよいか指針がありません。薬の効果には個人差もありますから、何回か注射してみて部位と量を定めていきます。

Q6:ボツリヌス療法の現状について?

A6: アメリカではたくさん使用されていますが、日本では歴史が浅く、厚生労働省の認可も限られています。薬剤は高価ですが、保険が利用できる範囲では負担は軽減されます。美容形成外科でしわ取りに広く使用されています。この病院では充分時間をとって患者さんの相談に応じています。紹介状はなくても構いませんが、これまでの経過や常用薬などの情報を得るため、紹介状があつた方が助かります。セカンドオピニオンを目的として来院していただいても歓迎します。



「さつきさんに聞いて来ました。」と言ってもらうと、お話を始める良いきっかけになるかもしれません。是非、どんなことでも相談に来て下さい。お待ち申し上げます。

愛知県心身障害者コロニー中央病院

住 所：480-0392 春日井市神屋町713-8
TEL 0568-88-0811(代表) FAX 0568-88-0828
<http://www.aichi-colony.jp/>

特 徴：コロニー中央病院は「人間の発達に関する医療を提供する病院」です。他の病院ではまれな疾患が、この病院では日常的です。スタッフは皆その患者さんのことが良く判っています。たとえば、脳性まひの人には発声にも障害があることを良く知っていますから、時間をかけてコミュニケーションを図ります。また、すぐ隣に発達研究所があり、遺伝子の解析や生体内の様々な代謝機構の解明に限らず、あらゆる分野で病院と有機的に協力し、人間の発達に関して独自の医療 学問体系を構築しています。

医療用語

神経内科：神経系や筋肉の病気を診断し、手術

以外の方法で治療する科。

整形外科：四肢や体幹などの骨、骨を動かす腱 筋肉 神経系の疾患を主に手術で治療する科。

麻 酔 科：手術中に患者を安全に眠らせておく事が仕事。その際に必要である人工呼吸の知識や鎮痛の技術を用いて、集中治療室やペインクリニック（痛みの治療）などの仕事を行う。

感想

重見先生、水野先生、伊藤先生、お忙しい中を取材にご協力いただきありがとうございました。この病院は障害を持った人が診療に訪れる病院で、先生方も障害を持っている人に慣れていて、とても優しく真剣に接して下さいました。MAB法のことでも知ることができ、ボツリヌス療法の治療にも取り組んでいるようです。通院はちょっと大変だと思いますが、セカンドオピニオン(*)を受ける病院としては良いと思いました。(*)診断、治療方針について主治医以外の医師の意見を聞くこと

MAB法、ボツリヌス療法ともに治療が合う人、合わない人いると思いますが、二次障害に関する情報が少なく、困っている人、知りたい人は多いと思いますので紹介しました。この療法が二次障害で悩む人の選択肢であるということを知ってほしいと思います。脳性まひの二次障害について、研究して二次障害の治療や予防を確立して欲しいと思います。先生にお話を聞いてもらうためにも身体があかしいな?と思ったら、私みたいに手術ということになる前に、早めに病院で診察を受けることをおすすめします。

本誌55号で紹介した「横浜南共済病院整形外科」でもボツリヌス療法が始まっています。脳性まひ患者にボツリヌス療法を行っている病院情報は、薬会社が設けた無料電話相談（0120-091-714、土日 祝日を除く9~17時まで）で紹介しています。

<http://www.cp-btx.jp/index.html>

『会話補助装置を補装具扱いに！』

言語障害のある当事者グループが、 厚生労働省へ要望書提出！！

11月4日、名古屋市昭和区のデイセンターサマリアハウスの利用者を中心に作られた“トーキングエイドの会”（以下エイダーズ）が、厚生労働省へ乗り込み、『携帯用会話補助装置の取り扱いについて』の要望書を提出しました。その様子を、私、でっちゃん（脳性まひ、言語障害あり）が同行取材したので、報告します。



『携帯用会話補助装置の取り扱いについて』の要望書

平成15年11月4日

厚生労働大臣 坂口 力 様

トーキングエイドの会
代表 守田 扶美子
DPI (障害者インターナショナル)日本会議
議長 山田 昭義
愛知県重度障害者団体連絡協議会
代表 岡崎 章
愛知県重度障害者の生活をよくする会
会長 森 美親
名古屋市昭和区恵方町2-5
052-841-8841

携帯用会話補助装置の取り扱いについて

日頃は障害者福祉にご理解 ご協力頂きありがとうございます。

私達は名古屋市の身体障害者（言語障害あり）の仲間で、名称は“トーキングエイドの会”といいます。常に携帯用会話補助装置（以下、会話装置という）を使い生活している者が集まり、いろいろな話し合いを行っています。例えば会話装置の性能とか理想像とか福祉制度とかを話し合った結果いくつかの共通認識を得ました。

この会話装置は私達にとって身体の一部であり、生きていく上で必要不可欠な物です。意思を他人に伝えたり、鉛筆の役目をしたり、電話もかけられるようになるなど、毎日の生活にかかせません。

そんな重要な物が日常生活用具という事で、入所施設に入っている言語障害者には、交付されず、コミュニケーションの時に非常に困難しているという状態です。これはまさしく“口の無い生活”です。足が不自由な人には車いす、目の見えない人には白杖という様に、言語障害者には会話装置を、という事で補装具扱いにして頂きたいです。

また私達は会話装置を営業の仕事などで毎日使っている人もいますので、障害のため落としたり、食事の間でも使用しているため、故障や破損する頻度が多くなってきます。修理代も安くはありません。

つきましては下記の通り要望いたします。

携帯用会話補助装置を、日常生活用具扱いから補装具扱いにして下さい。

携帯用会話補助装置の対応年数を5年から3年にして下さい。

これまでの流れ

10月3日

事前に厚労省にファックスにて、要望書（文書）を提出。その日のうちに厚労省より電話があり、11月4日の13時30分 交渉の日時が指定された。

10月10日

厚労省より、メールにて正式な返事をもらい、交渉にのぞんだ。

11月4日

◎交渉の時間は、13時30分から15分間とのこと。エイダースの仲間6人と介助者4人と私。（車いす8台）新幹線で、東京に向かった。



現場での最終打ち合わせの様子

◎指定されていた、厚労省1階共用第4会議室で、要望書を読み上げ、提出したあと、仲間の思いをそれぞれ、訴えた。

厚労省の社会・援護局障害保健福祉部の人には補装具、日常生活用具制度についての経緯など説明され、ほかの日常生活用具の中にも取り扱いを検討するべきものもあると思うので、今後、検討していきたいとのこと。

この『携帯用会話補助装置の取り扱いについて』の要望は、全国でも初めて！ということでした。



補助装置で思いを伝えている

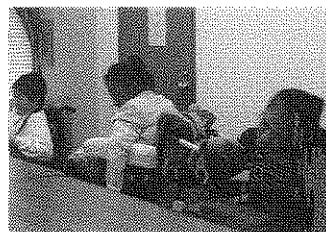
この『携帯用会話補助装置の取り扱いについて』の要望は、全国でも初めて！ということでした。

「エイダース」にインタビュー

そこで、でっちゃんは、この厚労省に要望に行った後、『エイダース』のみなさんにインタビューしました。

Q: まずは、代表の守田さんにトーキングエイドの会ができたきっかけをきいてみました。

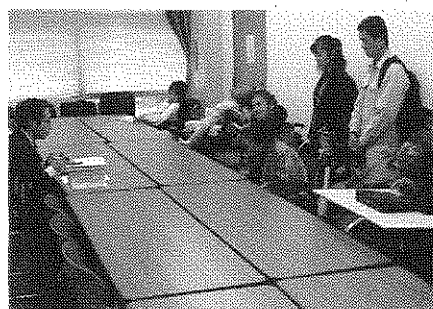
A: 2年前の夏に、私が通っているデイセンターに、施設入所している人から「歯医者に行くからトーキングエイドを貸して欲しい。」という電話があり、「施設にいるからしてもらえないのは、ヘンだよな。」と思い、仲間を集め、会を作ったのです。



ほかのメンバーにもきいてみました。

Q: この要望書ができるまでに苦労したこと、または、あなたのこの要望に対する思いを教えてください。

Aさん: 私は要望書の文章をまとめる役になりました。この要望書を作る準備段階で、皆にそれぞれ要望を書いてきてもらい、それを少しずつ引用しました。だから、これは皆の合作です。その中で苦労した事は、皆の意見を如何にまとめるかという事でした。



Bさん: 私は、みんなと話を進めていくというときに、私の思いがうまくみんなに伝わらなくて、トーキングエイドでの話し合いは、みんなの意見を聞きながら、自分の考えをトーキングエイドに打つということは難しいと思いました。

Cさん: 私は、DPI日本会議の議長である山田さんに要望書の承認を得る役目でした。どの様にして伝えたらうまく伝えられるのかを考えましたが、直接、思いを伝えてみることにしました。緊張してしまっただけで、エイダーズのためだと思ったら、なんとかできました。私は、施設で暮らす人たちだって、人間関係があるので、意志を伝える手段が確保されないのは、おかしいと思っています。

Dさん: 意見を出し合い、何が一番要望したいかを洗い出すのに時間がかかった気がします。また、要望しようとしていることが、正当かどうかを調べることが必要で、要望書を出すということだけでも、難しいのだとわかった。初めて要望書を作る段階から関わったことは、いい勉強になった。僕は、会話装置を補装具扱いに変更してほしいことが一番要望したかった。ほかにも必要なことはあると思うけれど、そんなには、切迫はしていないことだと思う。

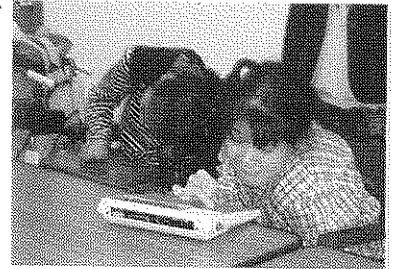
Eさん: 個人的には苦労はしてなかったのですが、何を一番に、要望書に書いたらいいのかをまとめるのが、苦労した。



Q2: 実際、厚生省に交渉に行った感想は？

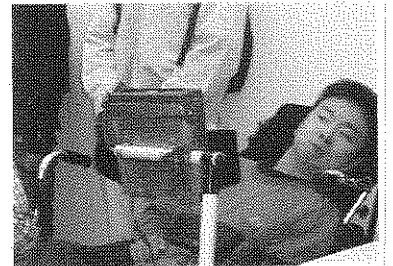
Aさん: 私の場合、行く前の日程調整からかわっていたので、厚生省に着いた時は、感慨無量でした。交渉というものに行ったのは初めてでしたが、厚生省の人も、ある程度こちらのいう事に耳を傾けて頂けたので、まずは成功だったと思います。

Bさん: 今回の行動は、ちゃんと厚生省の人に、私たちの言いたい事をいうことができ、また、相手も、聞き取ってくれたことが、嬉しかったです。



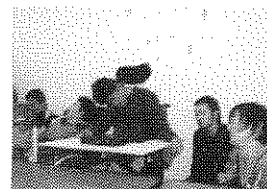
Cさん: 要望書を提出できて私は、うれしく思いました。準備段階では、仲間のうち3人で、厚生省に行く予定でした。前日になってエイダーズの仲間のほとんど(6人)に増え、無事に要望書を提出できたことは、大きな成果だったと思います。みんなに感謝をしたいと思います。

Dさん: 自分たちの声を伝えられて本当に良かった。やっぱり、生の声で訴えないと、伝わらないと思うし、



直接会って訴えないと、真実味がないから、エイダーズのメンバーと要望書を渡しに行ったことは、自分にとってよい経験になりました。これからもトーキングエイドについても、言語障害についてもエイダーズでいろいろ話し合っただけでいいです。

Eさん: 厚生省に行って、自分は何も交渉の打ち合わせをしてなくて不安でした。でも、みんなが生の声を伝えてくれたので良かったです。



Fさん: 厚労省に行く前は、体調がよくないと、断り続けた。ある人から、「トーキングエイドは、自分のことだから行きなさい。」といわれガイドヘルパー制度を利用して行きました。交渉は、初めてだったのでドキドキした。厚労省の人の対応は、好印象が残せたのでよかった。また、無事に帰ってこられ、僕の体力もわかったのでよかった。今後も運動をしていきたいと思っています。

Q: 最後にもう一度、代表の守田さんにききます。今後のエイダースの動きは

A: 半年以内に、仲間作りと署名活動をしたいなと思っています。もし、この記事を見て、興味があるなあと思う方は、連絡ください。待ってます。

連絡先: 本誌編集部

TEL 052-841-6677 FAX 052-841-662



でっちゃんの感想

私も以前から、「補装具」、「日常生活用具」の関係で、「日常生活用具」は、在宅の障害を持つ人しか使えない制度で、ということは、トーキングエイドなどの会話補助装置は、施設で暮らしている人は申請しても、許可はでない！ということを知り、これは、絶対、おかしいと思っていました。この要望を出したのは、全国でも、初めて！ということ。この記事を見て、もっと、多くの仲間がふえ、制度を変えていく方向になればなあと思っています。

ます。私も言語障害があるのでわかるのですが、言語障害を持つ人同士の会話や会議はとても時間がかかります。それを積み重ね、要望書まで作り、厚労相と日程調整をして、新幹線を予約して、東京に行って来たエイダースの仲間は、自分のことだけでなく、他の同じ障害を持つ仲間のこととも考えられるすばらしい集まりだと思いました。この熱い思いが厚労省に伝わり、制度が変わるよう、私も一緒に頑張っていきたいと思っています。

豆知識

～補装具とは～

身体障害者の失われた部位や障害のある部分を補って、必要な身体機能を獲得して、日常生活を円滑に行うための道具。

種類: 人工喉頭、盲人安全つえ、義眼、眼鏡、点字器、補聴器、義肢装具、座位保持装置、車いす、電動車いす、座位保持いす、起立保持具、歩行器、頭部保護帽、頭部保持具、歩行補助つえ、ストマ用装具

～日常生活用具とは～

在宅の身体障害児・者、知的障害児・者の日常生活の便宜を図るための道具

種類: 浴槽、便器、特殊便器、特殊マット、特殊寝台、ワードプロセッサ、特殊尿器、入浴担架、入浴補助用具、体位変換器、重度障害者用意思伝達装置、携帯用会話補助装置、移動用リフト、歩行支援用具、盲人用テープレコーダー、盲人用時計、盲人用タイムスイッチ、点字タイプライター、盲人用電卓、電磁調理器、盲人用体温計、盲人用秤、視覚障害者用拡大読書器、点字図書、盲人用体重計、歩行時間延長信号機用小型送信機、点字ディスプレイ、聴覚障害者用屋内信号装置、聴覚障害者用通信装置、文字放送デコーダー、透析液加湿器、酸素ボンベ運搬車、ネブライザー、電気式たん吸引器、火災警報機、自動消火器

支援費制度、100億円も不足！！

すでに新聞などでご存じかと思いますが、障害者支援費制度の利用者が急増し、厚生労働省が当初確保した予算が大幅にたりないことが発表されました。今年度は何とかやりくりをするとの見解ですが、来年度はそうもいかず、現在「平成16年度に向けたホームヘルプサービスの事業運営の見直し（案）」で、サービス単価の引き下げが検討されています。今、私たちは何をすべきか、みなさん一緒に考えましょう。

毎日新聞記事より

4月から導入された「障害者支援費制度」で、身体・知的障害者のホームヘルプサービスなどの利用が急増し、厚労省が確保した予算が大幅に不足する問題で、坂口厚労相は5日の閣議後会見で、不足分は年度末までに約100億円に達するとの見通しを示した。厚労省内の他の予算を充て、全額確保できる見込みという。厚労省は先月、支援費制度のホームヘルプサービスだけで約50億円が不足する見通しを示したが、坂口厚労相は最終的な不足額について「その倍近くになる」と述べた。ホームヘルプサービス以外の利用量も、同省の見通しを大幅に上回

ったとみられ、来年度以降は制度運用の修正を余儀なくされそうだ。

同省障害保健福祉部は他の部局で消化していない予算を集めているが、坂口厚労相は約100億円の不足分について「（省内の）各局に協力して頂いて、大体補うことができる」との見通しを述べた。[12月5日]

名古屋の動き

12月1日、11月中旬に報道された「支援費ホームヘルプサービス50億円、予算不足？」に基づいて、要望書（下記参照）を名古屋市に提出し、交渉を行いました。

名古屋市長
松原 武久 様

愛知県重度障害者団体連絡協議会
愛知県重度障害者の生活をよくする会
わ っ ぱ の 会
〒466-0037

名古屋市昭和区恵方町2-5

TEL 052-851-5240

FAX 052-852-4810

支援費制度居宅介護支援費についての要望書

日頃より障害者福祉に深いご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、ご存じのとおり、本年4月に新たにスタートした「支援費制度」は、ノーマライゼーションの理念のもと、障害者の自己決定、自己選択を尊重し、利用者本位のサービス提供を目的に、どんなに重い障害を持っていても当たり前前に地域で生活を営むことができる制度として始まりました。

名古屋市においては、措置制度下では、重度障害者でも、ホームヘルプの時間数に一律の上限が

設定されている、福祉ホームでの利用ができない、事業所が選べないといったことにより、言葉では言い表すことができない、非常に厳しい生活を強いられてきました。

支援費制度下では、われわれが障害者運動の中で、訴え続けてきたこと、それに名古屋市が障害者に対し、障害者の立場で、「必要な人には必要なだけ」の支援費支給量が決定されたことは、大きな成果だと考えています。その結果として、住み慣れた地域でホームヘルパーを利用しながら自分らしい生活を送る仲間が着実に増えてまいりました。名古屋市の支援費制度は全国的に見ても、障害当事者のニーズを一番に考え、これまでのように画一的な制度ではなく、個人個人の生活を尊重した制度であると実感しております。

しかし、11月14日、支援費制度の国庫補助予算が約50億円不足と予想され、厚生労働省が補助金を全額交付できないと都道府県に伝えたということが、新聞等で報じられました。

これが事実であれば、ホームヘルプ等の時間数に上限が設けられるなど、何らかのしわ寄せが出るのかもしれないと、私たちはこの報道に非常に危機感を抱いています。記憶に新しい今年一月の上限問題の一件があっただけに尚更のことで、今まで障害者運動によって築き上げてきた制度がまた後退してしまうのではないかと危惧しております。

つきましては、以下の要望についてお答え頂き、名古屋市としての見解をお聞かせ願いたいと存じます。

記

1. 名古屋市は、障害者の立場にたった「必要な人には必要なだけ」の支援費支給の理念を継続し、制度の後退がないようにして下さい。また、新規利用希望者に対して制約が加わることはないようにして下さい。
2. 国の施策においては施設から地域生活へとの理念が打ち出されています。ノーマライゼーション社会の構築は、日本だけの動きではなく、世界の動きでもあります。実施主体である名古屋市は今後、在宅福祉充実、「脱施設」のために具体的にどのような方策を講じられるか明示して下さい。

交渉の内容の一部抜粋

要望1:新聞等で「今年度の支援費予算が不足し、都道府県に全額補助金を交付できない」と伝えられたが、名古屋市においては後退させないようとはっきり言ってほしい。

名古屋市:国は50億不足していると言っている。国に出すよう働きかけている、市は事業所から請求が来るので義務経費となる、ないから払えないとは言えない。名古屋市は、金がないから、制限することは、考えていない。

現在のところ、国からの抑制の話はきていない。国は、予算立ての見込みが甘かった。名古屋市の来年度支援費予算は、今年の伸びを見ながら

確保していく。在宅は見込みが難しい。

要望2:今後の支給決定について、新規利用者に制限を設けるのか？

名古屋市:不公平になるので考えていない。今後、一定に伸びていくだろう。現在のサービスが満たされているとは、思わない。知的・児童のホームヘルプやデイサービスが大幅に予想を上回っているが、支援費全体では、施設予算が大きいので、たいしたプレではない。在宅が23億円、施設が83億円、15年度の伸びを考えて、予算を組む。

名古屋市としては、「今年度中の予算は大丈夫。今後についても制限を付けずにこれまで通りにやりたい、国へも要望を出すなど働きかけもしている。しかし国の方針が決まらないので来年度については返事ができない。」とのこと。

全国の動き

以下は、全身性障害者などの自立生活に役立つ介護制度情報を発信している「全国障害者介護保障協議会／障害者自立生活 介護制度相談センター」のホームページの抜粋です。

<http://www.kaigoseido.net/index.shtml>

本年度のホームヘルプサービスの国庫補助については、厚労省内の予算をかきあつめて、確保されましたが、来年の国庫補助金については、概算要求が満額確保されても301億円であり、現在の事業量からいっても全く確保できません。(事務局の試算によると、今年と同じサービスを提供するためには2割ほど足りません。)

そこで、厚労省はホームヘルプの単価の見直しを検討しています。今年度の国庫補助の確保の際に、政治家や財務省からも来年度はこのまま事業運営するのではなく、何らかの工夫を行うよう求められたということもあるようです。厚労省の検討の案が手に入りましたので、詳細をそちらを見ていただきたいですが、

検討されている点は以下の5点です。

- 深夜早朝、夜間加算をサービスの開始時刻でやっているところを、サービスの提供された時間に応じて算定する。
- 家事援助、身体介護の単価を介護保険の単価にあわせる。家事援助の値段はあがるが(はじめの1時間が2080円で、1時

間以降は1660円/時)、身体介護の1.5時間を超える部分は家事援助と同じ単価になる(30分830円)。

- 全身性障害者の移動介護について、日常生活支援に組み込んで一本化する。(日常生活支援を使っていない場合は、身体・家事・移動の組み合わせ)

- 移動介護の身体介護あり なしを統一して、介護保険の生活援助の単価(はじめの1時間が2080円で、1時間以降は1660円/時)にする。

- 級地加算の廃止または縮小

今後、自治体や団体の意見を聞いてどれを採用するか決定するそうです。

各団体で検討していただいて、厚労省の案で困る部分があれば、その実態について事務局までご連絡をお願いします。厚労省に提示していきたいと思っています。

来年度の政府予算案が発表されるまでに大枠は決めなければいけないということで、来週いっぱいしか時間がありません。お忙しいと思いますが12月15日までに情報をいただきますようお願いします。

今、国はサービス単価を下げることで、今までのサービス料を確保しようとしています。ここで大切なことは、単価が下がることで、介助者の確保に問題が出ないかということです。自薦ヘルパーで介助者を手配している人、事業者に派遣してもらっている人、状況は様々だと思いますが、確認が必要です。やっていけないというサービス団体からの電子メールがすでにインターネット上に流れ始めています。今回の情報収集には間に合いませんが、前述のページで最新情報が得られます。一緒に考え、行動しましょう。

三重県主催

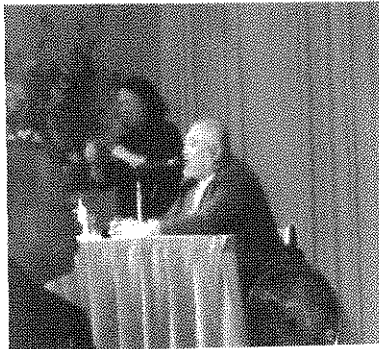
『バリアフリーフォーラム』に行ってきました。

10月28日、編集部の‘ちか’（リウマチ、電動車いす使用）と‘きよん’で、参加してきました。伊勢志摩は「バリアフリー観光地」という目標を掲げ、障害を持つ当事者を中心に、数年前からバリアフリーの観光地作りに活発に取り組んでいます。

フォーラムの報告

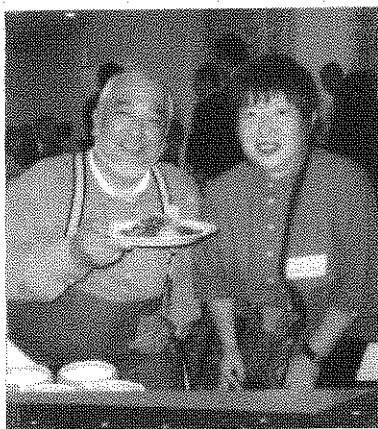
「バリアフリーと観光」という、今まではちよっと置き去りにされてきたテーマについて、地元の住民、企業、民間団体がどう取り組むか、伊勢志摩は全国的にどんな期待をされてるかなどを考えることが目的のフォーラムでした。

講師がとても豪華で、全国版の福祉情報雑誌「WaWaWa」の編集長の阿部さん、中日新聞の旅コラム「地球は狭いわよ」



で有名なトラベルデザイナーのおそどさん、障害がある人の旅づくりを応援している東京の（有）ベルテンポトラベル・アンドコンサルタンツの高萩さん、今、伊勢志摩で輝いているNPO伊勢志摩バリアフリーツアーセンター事務局長の野口さんという、迫力ある面々が登場しました。

遠く県外からの参加者もみえて、広い会場はいっぱいの人で盛況でした。それぞれの考え方の違いといったところで話が終わってしまった感じがするので、そこが残念だったかなあと感じました。



○ 印象的な話 ○

- ・ 旅は、「行けるところへ行く」「どこか行けるところへ行きたい」という発想から始まるのではなく、「何がしたいか」「どこへ行きたいか」から始まる。それを応援したい。
- ・ 大手の旅行会社は電話を受けた時点で断る理由を考えているところが多いこと、障害を偏見をもって見ている、本当は障害を持つ人でも色々な人がいるが、十把一絡げにしてとらえている点なども指摘。業界の常識は「非常識」といえるシンポジストの皆さんはすごい。
- ・ 「旅にはリスクはつきもの」ハンディがあるとそれも増えるが、リスクに関する情報を伝えるが、最後に決めるのは障害を持つ人自身。障害を持つ人の旅にも、自己判断、自己責任、自己決定をしてもらっている。
- ・ トラベルデザイナーのおそどさんは、自分で企画して旅行会社にそれを売り、自分が添乗するタイプのツアーを開催してきたが、売るだけで旅行会社、旅を作る人を育てるとりくみもしているらしい。
- ・ 高萩さんは、以前は大手の旅行会社に勤務していたらしく、社会の偏見に対してたくさん怒っていました。熱い人です。
- ・ 野口さんは、NPO伊勢志摩バリアフリーガイドツアーセンター(*1)の事務局長。脊損のご主人との出会いで、活動がパワーアップ。伊勢志摩で、今とても熱い人です。

ツアーセンターでは、障害を持った当事者が観光施設や宿泊所をチェックし、オーナーに改善してもらおうという活動や、バリアフリー情報をホームページでわかりやすく紹介しています。みんなが伊勢志摩を楽しめるようにしていこうという取り組みが明確で、メンバーの方たちも楽しんでやっているところがすばらしい！

(*1) 障害者自身によるバリアフリー度調査と観光客への観光・宿泊施設等の紹介斡旋を行うとともに、宿泊施設や観光施設、行政などへのバリアフリー化アドバイスなどを三重県より受託している。詳しくは、『かあるのトラベル情報』で紹介します。

パルケエスパーニャ

会場が「ホテル志摩スペイン村」だったので、フォーラムが開かれる前の時間に、隣接するパルケに遊びに行ってきました。ホテル志摩スペイン村の連絡通路を通して、パルケへ行くことができます。(フロントでチケット購入)パルケまでの道のりは坂が多いです。電動車いすで約5分。

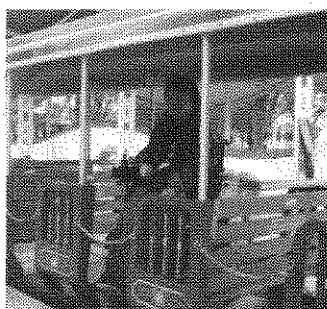
施設内はアップダウンがきつい部分もありますが、車いすで十分楽しめます。(登り坂がきつい場合は、リフト付車両での移動サービスあり)アトラクションは、車いすのまま楽しめるアトラクションがたくさん！(パンフレットにマークがあり)短い時間だったけれど、3つトライしてきました。スピードはないので、やや面白みにかけるかなというところもありますが、お子さんには安心して乗ってもらえると思います。スタッフも親切でした。

◎フィエスタトレイン

(汽車で広場を一周)

◎フライングドンキーホーテ(上昇型展望台)

◎ガウディカルーセル(メリーゴーランド)



アクセス

近鉄 名古屋からスペイン村へは、近鉄に乗って「志摩磯部駅」下車、約2時間。

○**特急新車両**:車内に2人分の車いすのスペースがあるが、並ぶと通路がふさがるので実際は1人用。

○**古いタイプの車両**:車いすはデッキにしかいられない。

○**急行車両**:地下鉄の車両のようになっているので、車いすのスペースはある。

伊勢志摩方面行きは、乗り換えが必要な場合もあるので、出掛ける前に要確認。

名古屋駅 TEL052-541-1094

志摩磯部駅 TEL0599-55-0029

* 志摩磯部駅のEVIは6~19時で稼働。駅員さんに連絡すれば19時以降でも動かしてもらえる。

スペイン村への移動手段 バスで15分だが、階段のあるバスしかない。今回は、県のユニバーサルデザインチーム(三重県健康福祉部の部署)とスペイン村所有のリフト車で特別に送迎対応。

○**三重交通**:手動の車いすの場合は、運転手以外のスタッフが一緒に乗り込み、乗降介助をしているとのこと。「人の手配があるので、事前に何時頃のバスに乗るか伝えてほしい。ただ、突然来られた場合も、運転手一人になり人手はないが、なんとかします」とのこと。そのときは介助者がいてくれると助かるそうです。

三重交通 志摩営業所 TEL: 05995-5-0215

<http://www.sanco.co.jp/>

○**スペイン村**:ホテル宿泊客には所有のセレナ(2台)で送迎あり。事前に連絡が欲しいとのこと。

ただ、団体の場合は難しいかもということでした。

ホテル志摩スペイン村

TEL0599-57-3511

FAX0599-57-3501



思い切って、テーマパークへ

ちょっと足を伸ばして、大阪の「ユニバーサルスタジオジャパン」はいかがですか？

現在、クリスマスムードたっぷりのイルミネーションやスペシャルエンターテインメントショーなど盛りだくさんのイベント「ハリウッド・クリスマス・スペクタキュラー」を開催中。今年はセサミストリーートのキャラクターが登場して色々なパフォーマンスを見せてくれます。また、スノーピーやセサミストリー

トのクリスマス期間限定のキャラクターグッズも販売されています。7万5千個のライトの付いた巨大クリスマスツリーも見逃せませんよ！

<http://www.usj.co.jp/index.html>



もう少し足をのばして「東京ディズニーランド」の「クリスマス・ファンタジー」開催中！パークはもうクリスマス一色らしい。パークのあちらこちらで、クリスマスのコスチュームに身を包んだミュージシャンが、すてきなクリスマスソングを奏で、ムードを盛り上げます。毎晩、クリスマスソングとともに夜空に輝く花火もみもの。

★ キャラクター総出演のミュージカルショー

場所：シンデレラ城前の特設スタジオ

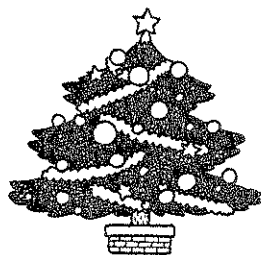
回数：1日3回

お勧め：聖夜の気分が味わえる夜の公演

★ 東京ディズニーランドは今年開園20周年。

今年は、サンタクロース姿のミッキーやその他クリスマスコスチュームのキャラクターが、クリスマスパレードを1日2回繰り広げます。高さ15mの大きなクリスマスツリーも気分を盛り上げています。

<http://www.tokyodisneyresort.co.jp/index.html>



クリスマスディナー

さて、クリスマスをカップルで過ごす皆さんに克己お奨めのお店を紹介しましょう。

★ **ブルーノート** 音楽と料理が一緒に楽しめるお店。アーティストと至近距離で音楽を楽しむことができます。料理は月替わりのディナーコースや小人数で分けることのできる大皿料理などがある。24日、25日は、

「トラヴェラーズ クリスマス スペシャル ライフ」

クリスマスディナーセット付 ¥9,000

場所：名古屋市中区錦3-22-20

マナハウス地下2階

身障トイレ：地下1階

アクセス：地下鉄桜通線「久屋大通駅」下車（エレベータあり、23:00まで利用可能）丸栄方面へ向かって約8分

TEL 052 - 961 - 6311

<http://www.nagoya-bluenote.com/>

★ 中華料理「東天紅」

夜景をみながらクリスマスを過ごしたい人は、JRセントラルターフーズを正面から眺められる「東天紅」はいかがでしょう。

地上25~26階に位置する店内から、きれいな夜景が楽しめます。

「クリスマスディナーコース」

12月23日（火）～12月25日（木）8,000円

場所：名古屋市中村区那古野1-47-1

名古屋国際センタービル25、26階

TEL 052-562-1015 FAX 052-571-8106

アクセス：地下鉄桜通線「国際センター駅」下車（エレベータあり）



さて色々ご紹介しましたが読者の皆さんにとって素敵なクリスマスになるようにお祈りしています。

クリスマスカード

堤 剋喜

ふつう、サンタクロースがやってくるのは、12月24日から25日へ日付が変わる頃、ということになっている。けれども、僕のところへ来る時刻は毎年違っていった。24日の日没後から、真夜中までの、いつか。

「今年は早かった。」

「見てごらん。サンタクロースが来たよ。」と午前0時過ぎに起こされたこともあった。

初めのうちは「クリスマスの日以外、サンタクロースは教会の塔の中で寝ている。」と教えられたようだが、実のところ記憶にない。

少し大きくなってから、「サンタクロースは、聖霊の働きによるものだから目に見えない。」と説明されたのは覚えている。

兄たちが「この電子ブロックはサンタクロースにもらった」などと真顔で言うのを聞いていたから、未っ子もそれに習った。

『スウェーデン国民画家カール・ラーション展』の告知をたまたま目にした。

くちょっと遅いなあ。日帰りの小旅行になる。どうする？

初めて聞く名前。ということは、見逃したら、次はいつ見られるか分からない。

体力のあるうちに。行けるうちに行っておこう。昼は駅前でウナギでも……> 予備知識もなく出かけた。

メインのポスター、チケットや図書の表紙には娘を肩車して、右手に絵筆を握る自画像が載っていた。

7人の子宝に恵まれ、家族での日常を描き続けた画家のようだ。

静物画や純粋な宗教画は見あたらない。

<クリスマスカードに使いそうな絵はないかな。

これだけ子どもを題材にしているスウェーデンの画家なら、

サンタクロースを描いてもよさそうだけれど。>

生没年を見て少し納得した。1853-1919

スカンジナビア三国が、平和外交と極地観光のシンボルとして、

「サンタクロースの国だ!!」とキャンペーンを始めるのには、1920年以降。

ラーションが1世紀代あとに生まれていたら、この国家事業に参加してたかもしれない。



『クリスマス・イブの前の日』

閉じたドアの前の中をうかがう仕草をしている。そんな作品だった。

<聖母子像や聖家族でないけれど、この絵と題名ならクリスマスカードになる。

クリスマスは全ての子どもたちのお祭りでもある。>

絵はがきを10枚ほど買って帰った。

僕の場合、サンタクロースへの願い事はずっと玩具だった。幸運に思う。

退院、家族との再会や戦争の終結をミサの中でみんなと一緒に祈ることはあっても、本当の『自分の願い』としなくて済む幼少期を過ごせたのだから。

家族と離れて、病院や施設でクリスマスを過ごす子どもたちは、僕と同じような「サンタクロースの信じ方」が出来るだろうか？

その年に限って何事にも不精者の僕には珍しく、クリスマスカードを出す気になった。小児科医の友人など何人かに『サンタクロースからの委託業務もしっかりやってください』と書き添えた。

カトリック名古屋教区の司教だった相馬信夫師へ送った最後のクリスマスカードにも『クリスマス・イブの前の日』を使った。

“かおる”の気になる 旅のホームページのご紹介コーナー 第2弾

本当はあんな所に行きたいのだけど、こんな所に行ってみ
たいな～。でも私でも行く事ができるかしら？
お任せ下さい！そんな悩みを解決してくれる車いすを利用
する方、障害のある方の旅行づくりをサポートする旅行会
社を紹介します。今回は、編集部の‘ちかちゃん’と‘きょん
ちゃん’がバリアフリーフォーラムで知り合った方々のペー
ジです。



★ (株) 地球は狭いわよ トラベルデザイナーおそどまさこ事務所

URL <http://www.womanstravel.net/>

トラベルデザイナーのおそどまさこさんは、どんなに障害が重い人でも旅するために意欲的な旅行会社と共に心を込めて取り組んでいこうという方です。バリアフリー個人旅行も受け付けています。

〒409-1501 山梨県北巨摩郡大泉村西井出7353-7

TEL 0551-38-2430 FAX 0551-38-2206 E-MAIL osodo@womanstravel.net

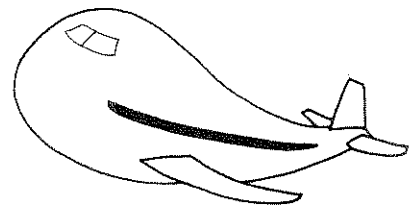
★ (有) ベルテンポ トラベル アンド コンサルタンツ

URL <http://www.beltempo.jp/>

障害を理由に旅行会社から受付を断られたり、旅に行きたいけど、どうしたらいいのかわからないなどの悩みや不安を解決してくれる会社です。相談、面談はすべて予約制です。

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-7-1 エルプリメント新宿111号

TEL 03-5919-2545 FAX 03-5919-2827 E-MAIL info@beltempo.jp



★ 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター

URL <http://www.barifuri.com>

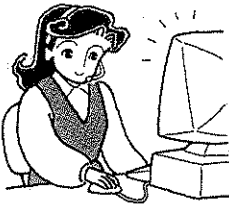
伊勢 鳥羽 志摩のバリアフリーなおもてなしを、設備面だけでなくソフトにおいても行き届いた地域に近づけることを目的に設立されたNPOです。調査は障害者スタッフのグループが実際に施設に行ったり宿泊をしながら行ってあり、障害者からの視点で情報を提供してくれるので細かい所まで気づきがあると思います。電話やメールによって、旅行の相談や宿の交渉、予約などが頼めます。

〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽1-2383-13 鳥羽一番街1F

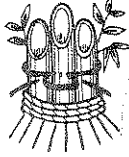
TEL 0599-21-0550 FAX 0599-21-0585 E-MAIL iseshima@barifuri.com

開局時間(季節により変動あり) am9:00~pm5:30 木曜定休

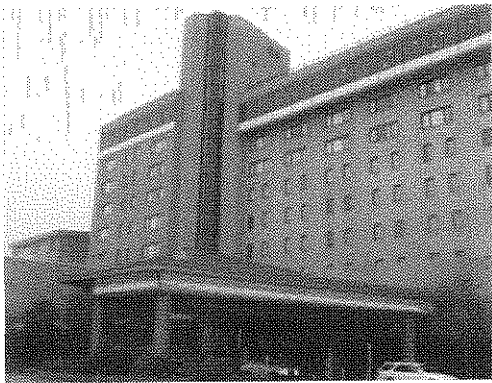
★海外旅行へ行きませんか？

| コース名 | 出発日 | 料金 | 特徴 | 問い合わせ |
|---|------------------------------|--------------------|---|---|
| 悠久のエジプト 浪漫の旅 9日間 専用バス利用 添乗員同行 | 1月27日(火) ~2月4日(水) 名古屋発 | 398,000円 (2名1室) | ピラミッド、アブシンベル神殿 やツタンカーメンのお墓は必 見。一番良い季節です。使いや すいホテルにこだわったツア ー。 | チック トラベルセンター 『ハート TO ハート』 TEL052-222-7611 FAX052-222-1223 |
| 満喫ラスベガス 6日間 リフトバス利用 添乗員同行 | 3月2日(火) ~7日(日) 名古屋発 | 168,000円 (2名1室) | カジノだけではもったいない！ 各ホテルの無料アトラクション をいろいろ楽しんで下さい。夜 も安心の全米一安全な都市。 車いす用のスロットマシンも用 意されています。さすが！ | 名古屋市中区錦 1-20-19 名神ビル6階 http://www.heart-to-heart.ne.jp/ |
| 感動体験 カナダオーロラ 6日間 リフトバス利用 添乗員同行 | 2月15日(日) ~20日(金) 名古屋発 | 198,000円 (2名1室) | 暖かいオーロラ観測小屋で、コ ーヒーとケーキも無料で楽しめ る。完全防寒具でオーロラ観測 もへっちゃら。もちろん身障者 トイレもあります。 |  |

★国内旅行へ行きませんか？

| コース名 | 出発日 | 料金 | 特徴 | 問い合わせ |
|---|-----------------------------|---|---|--|
| 沖縄の旅、 那覇と石垣4日間 リフトバス利用 添乗員同行 | 1月28日(水) ~31日(土) 名古屋発 | 148,000円 (2名1室) | 一足早い沖縄の桜は咲いている か！？誰もが泊まってみたいリ ゴートホテル「ザ ブセナテラ ス」に宿泊する思い出プラン。 | チックトラベルセ ンター『ハート TO ハート』 同上 |
| 初春の ハウステンボス 長崎・熊本めぐり 4日間 リフトバス利用 添乗員同行 | 3月27日(土) ~30日(火) 名古屋発 | 138,000円  | 原鶴温泉ではオプションで介助 付温泉入浴可能(8,000円)。有 田焼絵付け体験、ハウステンボ スで自由行動、九十九島の島々 の間をゆっくりとバリアフリー 遊覧船でクルージング、長崎市 内、雲仙で地獄めぐりなど | JTBバリアフリ ープラザ 東京都千代田区丸 の内1-5-1新丸ビル TEL03-3212-7601 FAX03-5224-3535 http://www.jtb.co.jp/bfplaza/top.html |

飛騨高山温泉 高山グリーンホテル



〒506-0031 岐阜県高山市西之一色町2-180
TEL0577-33-5500 FAX0577-32-4434
ホームページ：http://www.takayama-gh.com
Eメール：mail@takayama-gh.com

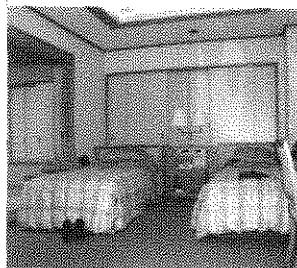
高山市は「住みよい町は行きよい町」という福祉観光都市を目標に取り組みを続けていますが、「高山グリーンホテル」も宿泊施設として、その取り組みに積極的にかかわってまいります。温もりのある“人にやさしいホテル”をめざし、ソフト面、設備面の充実に力を入れています。大浴場の「専用車いすのまま入れる入浴システム」、「ユニバーサルルーム」、弱視の方に配慮して部屋の中の配色に工夫をしたり、文字を拡大するなどの工夫をした「コントラストルーム」など、毎年少しずつ設備を改善されています。

◎ 玄関

段差なし。

◎ 部屋

タイプ：洋室、和洋室
ユニバーサルルーム3室



◎ ユニバーサルルーム

広さは和洋室と同じ。

本館に2室、天領閣（別館）に1室

☆入り口：間口75cm。ドアノブを木製の縦手すりに替えているので、操作しやすい。

☆ベッド：起き上がり補助機能のついた電動ベッド設置。ベッドとベッドの間隔は85cmあり、車いすでベッドサイドに入れる。

☆浴室：脱衣用ベンチ設置。スライドドア。段差約2cm。手すり付。シャワーいす、シャワー用車いす、シャワーボード、浴槽台、バスリフト（浴槽内設置の電動昇降いす）あり。シャワーは手もとで出す止めるの切り替え操作ができる。

☆洗面台：高さ81.5cm。手動車いすでは少し高く感じる人もいる。

☆トイレ：INAXの昇降便座付（電動操作で立ち上がりを助けるもの）。壁側し手すりとはね上げ手すり（短い）、ウォッシュレット付。便座高45cm。

☆その他：

電気等のスイッチは大きめを採用し、床から1mの高さに設置。クローゼットには高さ1.3mのハンガーラックを採用。聴覚に障害を持っている方への配慮として、ドアチャイムに光シグナル、ホテルフロントと文字での会話ができる「双方向筆談器」を設置。盲導犬同伴の方への配慮として、盲導犬マット、餌入れの設置。

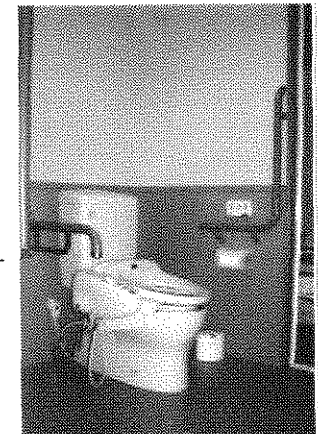
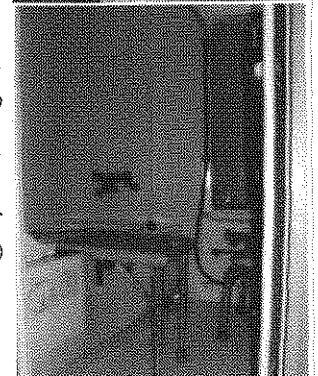
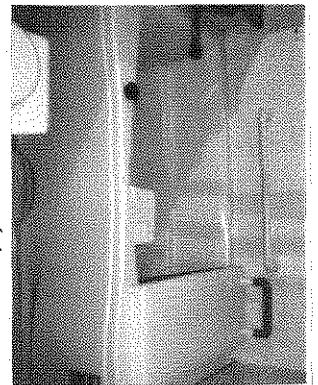
☆一泊二食付の基本料金（1室4名利用の場合）

本館 1万5000円

天領閣 1万8000円

*シーズンによって

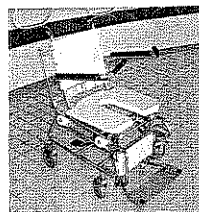
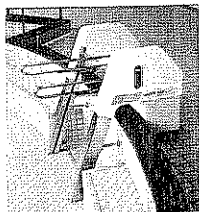
上下します。



◎ **大浴場** 2箇所あり

「手長足長の湯」 本館地下1階

入口にスロープ設置、車いす入浴システムがあり（朝晩で男女入れ替わるので、夜は男性風呂、朝は女性風呂になる）、専用車いすを利用して、ボタン装置で簡単に湯船に入れる。



* 事前に依頼すれば、貸し切りや男女の入れ替えの変更可能

「本陣大湯殿」 天領閣1階

特別な装置はないが、湯船までの段差はなく、シャワーいすやシャワー用車いすの貸出が可能で、湯船の近くに手すりあり。

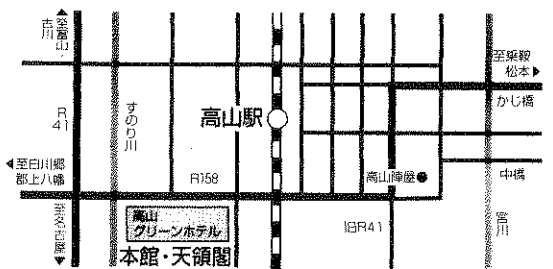
* どちらともパウダールームがあり、化粧品など充実している。

◎ **身障用駐車場** 3台分あり。

◎ **アクセス** (名古屋から)

車：東海北陸自動車道 郡上八幡I.C.下車、せせらぎ街道経由 約2時間40分

電車：ワイドビュー飛騨（4号車に車いすスペース、多目的トイレあり）で約3時間。



利用者のコメント: 天守閣を利用しました。ハンディを持っている人の生活の知恵を生かして取り組んでみえるので、細かい部分の配慮もありました。必要に応じて、入浴台などを事前に準備してもらえるのも助かります。そして何より、ホテルスタッフの方の「どんどん使い勝手について意見を下さい」という姿勢はうれしい限りでした。

◎ **最奇りの観光スポット**

フロントには、車いすトイレマーク付の観光案内が用意されています。

朝市・陣屋0.9km 古い町並み、国分寺1.0km 飛騨の里1.3km など



おまけの高山情報

高山の玄関 JR高山駅1番線に到着すれば段差もなく、観光案内のある駅前へ出られる。2番線に着くと、チェアメイト（階段昇降機）で階段を登って降りることになる。観光案内所にはバリアフリー観光情報コーナーや、車いすの貸出コーナーがある。

古い町並みを歩く 街の中の車道と歩道の段差を徐々になくしているので、歩きやすくなっている。また、市内の観光スポットは、車いすで利用できるように仮設スロープなどが設置されている。

車いすトイレ 市内の公衆トイレ、公的施設、ホテル、旅館を含めるとなんと80ヶ所に、設置されている。

車いすの貸出し 観光案内所などで、無料で借りることができる。要事前予約。

高山市社会福祉協議会
TEL0577-35-0294 FAX0577-34-6736

電動スクーターの貸出(3台)

本町3丁目のかじ橋駐車場で、必要な人に下記の条件で無料貸出をしている。事前に利用者登録が必要。原則9:00~17:00で、1人につき2時間以内の利用。登録時協力金として200円(年度更新) 登録は、市商連事務局。

TEL0577-32-2550 FAX0577-36-0356

メール info@takayamashishouren.net

現地での登録、申込みも可能。

「車椅子おでかけマツ」

観光施設・宿泊施設・みやげ店・飲食店などのイラスト入り地図に、車いす用トイレ、駐車場、避難所なども記入。無料
欲しい人は高山市社会福祉協議会へ

グルメな調査隊 第30弾

名古屋市 Sさんより

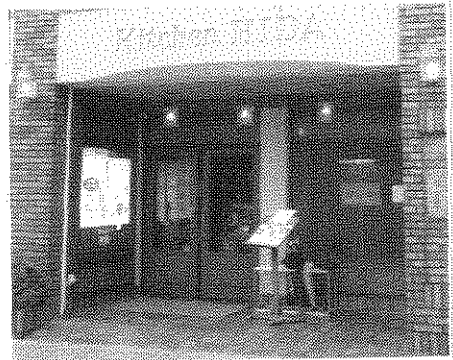
高山で本格飛騨牛を食べるならここへ！少し遅めのランチタイムに行ったので、店内も静かで、ゆったりと食事できました。ステーキソースやハムなどの販売もしています。

キッチン飛騨

場 所：岐阜県高山市本町1-66

TEL 0577-36-2911

FAX 0577-35-1129



最寄り駅：JR高山線『高山』駅下車、徒歩約15分

★ジャンル 飛騨牛

BGMが耳に心地よく落ち着いた雰囲気の中、飛騨牛を堪能できます。

★おすすめメニュー

○飛騨牛ヒレステーキ オーダーカットシステム100g～ 2,700円～

○飛騨牛ロースステーキ オーダーカットシステム100g～ 2,700円～

○ランチ

「テンドー」4,500円

スープ、自家製ハムサラダ、ヒレステーキ、

パンまたはライス、コーヒー

「ビーフプレートランチ」2,500円

サラダ、本日の肉料理、パンまたはライス、コーヒー

「ハンバーグステーキ」1,500円

サラダ、ハンバーグステーキ、パンまたはライス、コーヒー

○ディナー「ロースステーキディナー」10,000円（二人前）

スープ、自家製ハムサラダ、ロースステーキ300g、パンまたはライス、コーヒー



★店内の様子

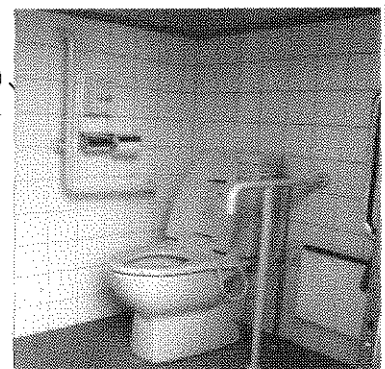
入口開き戸／店内1階いす席は段差なし／テーブル席（高さ70cm）、

いす移動可／全100席

★トイレの様子

和式トイレ、手すりなし。

最寄りの車いすトイレ：店から徒歩2分の高山陣屋にある。



★駐車場 一般用5台

★営業 11:30～15:00 17:00～19:45（ラストオーダー）／水曜定休

★サポート倶楽部の方への特典

3月末まで、ご飲食の方へグラスワインサービス！！（会員証の提示をして下さい）

引き続き、お気に入りのお店情報をお待ちしています。

福祉情報誌発行委員会 TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

福祉用具のリサイクル情報 (03/12/10現在)

欲しいもの、不要なものありませんか？リサイクルの輪を広げよう！

◆A J U 自立の家は、なごや福祉用具プラザの中で、福祉用具のリサイクル品相談とコーディネート、福祉用具の販売、自立生活情報の提供をしています。

◆譲りますよ！ *金額の記述のないものは無料

ベッド、床周用品

- ◇ ベッド 木製ベッド
- ◇ 手動ベッド
- ◇ 1モーターベッド 5～6年使用
- ◇ 1モーターベッド ￥50,000 半年使用
- ◇ 2モーターベッド ￥100,000 わずか
- ◇ 3モーターベッド ￥100,000 3ヶ月使用
- ◇ 3モーターベッドリフト付 ￥40,000 4年使用
- ◇ モーターベッド用手すり 数年使用
- ◇ エアーマット (自動寝返り機能付き) ￥10,000 約4年使用
- ◇ エアードクター ￥40,000 1～2ヶ月
- ◇ おきらく ￥30,000 1ヶ月使用
- ◇ エアークッション 大 数回使用
- ◇ エアークッション 小
- ◇ 介護寝具ベッドパット ￥2,000

移動用品

- ◇ 手動車いす 数回使用
- ◇ 手動車いす 4年使用
- ◇ 手動車いす ￥50,000 4～5ヶ月
- ◇ 電動車いす 3～4年使用
- ◇ 電動車いすウイングチェア ￥250,000 数回
- ◇ 電動三輪車 ￥150,000 約3ヶ月
- ◇ 電動三輪車 ￥25,000
- ◇ 歩行器 ￥5,000 数回使用
- ◇ 木製松葉杖
- ◇ 福祉車輛 カリーナのパン 10年以上
- ◇ 福祉車輛 (リフト付) ランサー ￥1,500,000 1年くらい使用

入浴用品

- ◇ 入浴用車いす 5～6年
- ◇ シャワーいす ￥12,000 未使用

トイレ用品

- ◇ サニタリー両用式かぶせ便器 10年くらい
- ◇ ポータブルトイレ 数回使用
- ◇ ポータブルトイレ座楽S型 ￥3,000 未使用
- ◇ ポータブルトイレ ￥5,000 わずか
- ◇ 家具調トイレ座楽KS型 ￥10,000 わずか
- ◇ 木製ポータブルトイレ ￥10,000 わずか
- ◇ ポータブルトイレヒーター付き ￥30,000 未使用
- ◇ ポータブルトイレウォッシュレット付き ￥50,000 未使用
- ◇ 電動採尿器女性用 ￥10,000 1年使用
- ◇ 電動採尿器 ￥20,000 未使用
- ◇ 紙おむつアテント 15枚入り (男女共用) ￥500
- ◇ ムツカバー ￥500 未使用
- ◇ 尿取りパッド両面吸収タイプ ￥1,600 未使用

その他

- ◇ 補聴器 きこえ～る 未使用
- ◇ 拡大読書器 約7年使用
- ◇ モジネットチューナー ￥20,000 半年使用
- ◇ 階段昇降いす 8年使用
- ◇ 階段昇降機
- ◇ 電動リフター サンバートランスケアー ￥900,000 3年使用
- ◇ スリングシート (メッシュタイプ) ￥7,500 数回使用
- ◇ 靴マジックゴムバンドページュLL ￥2,000
- ◇ 靴オープンマジックブルー 左3L右4L ￥2,500
- ◇ 靴センターゴム ￥2,000 未使用
- ◇ 靴 ￥4,000 新品
- ◇ フリーデスク ￥10,000 未使用
- ◇ 吸引器 ￥50,000 2年半使用
- ◇ マッサージ機 ￥70,000 7年使用
- ◇ 肘掛け付きイス エルゴ ハイバックチェアー ￥80,000 1年半使用

◆譲ってほしい！

介助用車いす / 手動車いす / エアーマット / おむつ / 電動ベッド (3モーター) / 4点杖 / など

「譲って」欲しい方、「譲りたい！」という方、ぜひご連絡下さい。

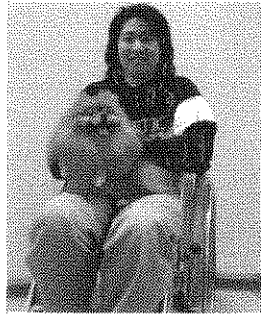
A J U リサイクル相談事業部 TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

ホームページでもみることができます。URL: <http://www.aju-cil.com>

毎週金曜日の朝日新聞 (朝刊) でも、リサイクル情報が掲載されています。

新しい世界を開こう！ MOVEプログラムに参加して

9月20日（土）～21日（日）に名古屋養護学校で開催されたセミナーに参加してきました。麻生と申します。私は、交通事故に遭い車いすを利用する生活になり



ました。障害を持った人が運動機能を向上させて、今よりもより良い日常生活を送る社会参加するということは、誰もが持っている願いだと思います。運動機能を向上させるプログラムは数多く存在すると思いますが、今回、私が参加してきたアメリカで開発された『MOVEプログラム』について紹介したいと思います。

当日の参加者

名古屋養護学校、豊田養護学校、安城養護学校の先生方達、青い鳥医療福祉センターの医者とPTの方、名大附属病院研修医の方と私、合わせて19名でした。

MOVEプログラムの大まかな概要

アメリカ カルフォルニア州で長年特殊教育に携わってきたリンダ・ビダベ氏が、1986年に開発した重度・重複障害児向け日常生活に必要な運動技能を教えるための教育プログラム。MOVEとはMobility Opportunities Via Educationの頭文字であり「教育を通して、障害者に動く機会を保障しよう」という意味を持っています。障害を持つ方が、地域社会の中で人権と尊厳をもって暮らしていくために、日常生活に必要な運動技能（座る、立つ、歩くなど）を向上させるもの。すでに26カ国で実践されている。

MOVEプログラムの特徴

1. プログラムにおいて最も重要なことは、当

事者の方が日常生活の中で今現在、あるいは将来何をしたいと思う、また家族が子どもにこうしてほしいと思う具体的な活動を、できる限り実現するためにプログラムが組み立てられる。

2. 障害児（者）の生活にとって、現在の生活で困っていることや、これができれば生活がもっとしやすくなる、楽しくなるということをもとに、今必要な活動を最初にゴールとして設定する。例えば、「レストランで家族と食事をする」とか「お父さんのために冷蔵庫からビールを取ってくる」等
3. プログラムの実践を支える基盤は、教育機関と医療機関、家庭等、障害児（者）に関わるすべての人々が協力しあって一つのチームをつくり、当事者を中心に連携していく。

医療・教育の専門知識の有無にかかわらず、このステップに従って誰でもプログラムに取り組めるようにまとめられています。

MOVEプログラムとは何かお分かりいただけただけでしょうか？もう少し理解を深めるために事務局の方にお話を伺いました。

Q1: MOVEプログラムの対象となる人は

どんな方達ですか？（障害の程度、年齢等）

A1: 一人で座る、立つ、歩くことができない人なら誰でも対象となります。障害の程度や重複度によってプログラムの成果は変わってきますが、実質的に多くの方が健康状態を改善させ、技能を向上させることができます。対象年齢に限定はないですが、日本での実践例では、養護学校の生徒さんがほぼ上限。アメリカでは、成人の共同作業所、高齢者施設でも取り入れられています。実践事例としては重度重複障害児者が多いかと思います。

Q2: どのような人達が、MOVEプログラムを実践できないんですか？

A2: 座る、立つ、歩く、が医学上禁止されている方。もし、現在リハビリに通っておられる

場合は、その内容からプログラムが使えるかどうかをおおよそ推測することができます。ただし、対象者本人がある程度自ら活動に参加する（身体と動かす）ことが求められます。

**Q3:どのような時に受けると有効なのでしょう
か?どのような機器が使われますか?機器は
必ず使用しなければいけないのでしょうか?**

A3:今行っている運動・技能へのアプローチが十分ではない、効果がないと感じているときに、取り入れていただきたいプログラムです。今までのやり方では十分でないという調査結果から、このプログラムを開発し、それに合わせた機器を開発してきました。機器は長距離の移動には主に車いすを使います。ウォーカーやモビルスタンダー、補助付きの椅子が使われることもあります。補助を徐々に減らしていくことで機器への依存度を最小限にすることを目指します。



機器を使わない実践は、たとえば、立ち上がりや立った状態から座る技能は機器を使用しませんが、歩行を練習するときには、重度の方の場合、人的な介助で行うことは、不可能ではないにせよ、対象者の身長や体重が大きいほど、介助者の負担が大きくなり、結果的に実践を継続するのは難しいと思います。

機器の目的は、もともと、日常生活で動くチャンス数を多く作り活動を広げ、その結果として運動技能の獲得を助けるということで、通常の訓練では時間が足りず、効果も出ないということが、MOVEの開発の理由でした。したがって、他の運動機能訓練が有効でないと思われるときには、取り入れていただきたいと思います。

Q4:名古屋で実践することは可能ですか?

A4:名古屋には事務局はありませんが、わからないことは東京の事務局で質問をお受けして、一緒に対策を考えたいと思います。名古屋で実践する場合、お子さんであれば通っている

施設や、養護学校で取り入れ、医療的なアドバイスを受けるのは、通っている病院や療育センターのドクターやセラピストに。また、成人の方の場合は、可能であれば家や職場、通っている病院での実施になると思います。

Q5:費用は、どのくらいかかりますか?

A5:通常の医療機関、教育機関の専門職と進める形が基本なので、特に費用はかかりません。ただ、進め方がわからないので、事務局から講師を派遣してほしい、という場合には、交通費と講師料5000円(1時間)がかかります。また、会費は年間3000円です。これには、通信の配布、情報提供、電話での相談受付などが含まれます。

Q8:日本国内での広がりはどうですか?

A8:九州から北海道まで広がっています。会員数500名以上。ただ、個人での取り組みが多いので、実際に施設内で取り組みを見学できる施設は数箇所です。就学前なら、那須地区こども発達支援センター「なすの園」(栃木県黒磯市)、養護学校は筑波大学附属桐が丘養護学校(東京都板橋区)、高齢者施設は、社会福祉法人クロスハート栄 横浜(神奈川県横浜市)をお薦めします。

.....

セミナーに参加してみても...

プログラムの中の「日常生活に必要な運動技能(座る、立つ、歩く)を向上させるお手伝いします」という言葉に興味を持ち、どんな指導をするのだろうと参加しました。日本では当たり前に行われている「時間を決めてその時間に集中的に訓練する」のではなく、「日常生活の中で必要な動作を、楽しみながら身につけていく方法」が良いと思いました。これからもっと高い技術を身につけた専門職の方達が増え、指導し、障害を持った子供達、大人が、少しでも自らの意志で行動して自立していける仕組みになれば良いなと思いました。

事務局：日本支部事務局 TEL/FAX：03-3967-4394
MOVE林-ム-ジ：http://www.move-japan.org
E-mail：movejpps@ninus.ocn.ne.jp

名古屋の市バス

12月13日、地下鉄4号線の開通に合わせて再編成され、新たに下記の路線でノンステップバスが走り始めました。

栄24

栄～広小路栄～広小路本町～広小路伏見～納屋橋～柳橋～笹島町～笈瀬通～牧野町～権現通～黄金中学校前～千成通～千成通四～豊国通四～豊正中学校前～鴨付町～荒輪井～稲西車庫

星丘13

星ヶ丘～星ヶ丘住宅～名東本通二～西山小学校～西山本通二～西山本通三～牧の原～高針原～焼山橋～植田山住宅北～植田山～東山公園テニセンター～妙見町～八事日赤病院～滝川町～枳中

原13

地下鉄原～下原～原～平針南住宅～天白消防署～大根荘～高坂小学校～ほら貝～桃山小学校～神沢一～緑黒石～徳重～徳重西～乗鞍～鳴海東部小学校～平手～横吹～諸ノ木口～諸ノ木～藤田保健衛生大学病院

野並18

野並～大塚～野並車庫～鳴子住宅北口～鳴子町～鳴子口～池上～鹿山～中旭出～緑市民病院～六条～曾根田～平部～左京山～西有松～有松中町～有松小学校～高根～地蔵池～幕山～桶狭間寺前～郷前～下切～有松町口無池

有松11

有松駅～有松小学校～高根～地蔵池～幕山～桶狭間寺前～郷前～下切～有松町口無池～有松インター北～有松町清水山～権平谷～愛宕西～三丁山～有松小学校～有松駅(右回り)
有松駅～有松小学校～三丁山～愛宕西～権平谷～有松町清水山～有松インター北～有松町口無池～下切～郷前～桶狭間寺前～幕山～地蔵池～高根～有松小学校～有松駅(左回り)



名古屋の地下鉄

12月13日、地下鉄4号線開通！！

(砂田橋～名古屋大学間)

もちろん、全駅エレベーター、多機能トイレあり

砂田橋<名城線と接続>→ 茶屋ヶ坂(2番出入口)→ 自由ヶ丘(2番出入口)→ 本山<東山線と接続>(自転車駐車場A出入口横)→ 名古屋大学(3番出入口)

その他：段差解消スロープ、音響 音声案内設備あり。本山駅は、東山線からも利用できるようになった。()内はエレベーターの出入り口

◎名古屋大学～八事日赤～八事～総合リハビリテーションセンター～新瑞橋間は、平成16年度開通予定

高速道路利用情報

身体障害者等に対するETC車載器購入助成
前号で、来年の1月20日からETCで障害者割引が適応されることをお知らせしました。今回は、「車載器購入の費用の一部助成」についての情報です。車載器は2,3万円で市販されている。

対象者：身体障害者等割引制度の適用を受ける方

- ①障害者本人が運転の場合
身体障害者手帳の交付を受けている全ての身体障害者
- ②介護者が運転の場合
重度の身体障害者又は重度の知的障害者



助成内容：ETC車載器の購入に必要な費用の一部(一人あたり1万円)を助成。既にETC車載器を購入された方も対象
但し、受付件数が1.5万人に達した段階で終了。

実施時期：平成15年12月1日から受付開始

問合せ及び助成受付窓口

財)道路サービス機構内

ETC車載器購入助成係

TEL 03-5458-5569

<http://www.j-sapa.or.jp/news/0311141/index.htm>

交通大行動2003の報告

愛知県重度障害者の生活をよくする会
平山晶士

毎年、全国の当事者グループの多くで一斉に行っている交通大行動、今年愛知県では、10月26日に行われました。今回もJR、名古屋鉄道（以下、名鉄）、船（名鉄）について行動を起こしました。ここでは、僕が参加した名鉄を中心に報告します。

名鉄の行動は2年連続、「金山～江南」というルートでした。昨年は江南駅（階段があり介助が必要）で電動車いす使用者に対する乗車拒否をされました。昨年も本誌で報告し、読者の皆さんからこの取り組みに対する賛否両論をいただきました。今年は電動車いす使用者5名、介助者4名で江南まで行きました。江南駅は犬山駅にある階段昇降機（チェアメイト）を電車で運び階段の昇降を手伝ってくれました。駅員の対応も乗車拒否をされた昨年とは違って気持ちよくやってくれました。このことは長年、僕たちが名鉄に運動してきた成果だと思えます。しかし、チェアメイトは時間がかかるので、江南駅から外へ出るまでに42分かかりました。まだまだ、問題は残りますが、とりあえず、1年で名鉄の対応は変わりました。

また、JRで行動したグループは、ハンドル形電動車いす（セニアカー等と呼ばれている）使用者が乗車拒否にあったり、船のグループは車いす使用者が乗船拒否にあうなど、新たな問題が浮き彫りになりました。

今後は、誰もが使える公共交通機関を目指して、交通事業者各社と中部運輸局へ直接要望書を持って交渉に行く予定です。また、報告します。



鉄道の整備情報

名古屋鉄道は、他社に続きやっと、ホームページの「お体の不自由なお客様へ」のページで、すべての人に安心して鉄道を利用してもらうための取り組みと、駅施設一覧の紹介をはじめました。

<http://www.meitetsu.co.jp/service/handicap/index.html>

○**JR東海** 「お体の不自由なお客様へ」

<http://www.jr-central.co.jp/info.nsf/doc/Equipment-top>

○**近鉄** 「駅施設のご案内」

<http://www.kintetsu.co.jp/>

○**名古屋市交通局**

<http://www.kotsu.city.nagoya.jp/>

.....

軽福祉タクシー情報

緑区Sさんから「外出の心強い味方ご紹介」

電動車いすを使用しています。私の外出時の交通手段についての情報をお知らせします。

仕事や遊びで夜遅くなったり朝早い場合、家の最寄のバス路線にはノンステップバスが走っていなくて、24時間OKと言われていた軽福祉タクシー会社へ事前に予約を入れても断られることがしばしばで、とても困っていました。

でも、最近、『軽急便の車いすタクシー』というのが運行するようになりとても助かっています。ここは、「事前に(当日18時以前に)予約さえ入れれば」夜間でも早朝でもお願いできます。

また、お迎え時間がはっきりわからない場合でも、乗る事が確実であれば待機をしてくれれます。料金は一般タクシーと同様、メーターで出ます。

軽急便車いすタクシー

TEL 052-800-5671 FAX 052-800-5672

電話受け付け時間：7:00～20:00

運行時間：24時間OK

(ただし事前予約は必要)

○**中部運輸局の福祉タクシー**

<http://www.mlit.go.jp/chubu/jidosya/jigyoyitiran.htm>

日本の伝統芸能を鑑賞しませんか？

能楽鑑賞

名古屋城正門前にある名古屋市能楽堂へ「能」と「狂言」取材を兼ねて見に行ってきました。初体験の私のような人のために、受付ではガイドによる解説が聞けるイヤホンを無料で貸し出して、解説を聞きながら鑑賞しました。久々に聞く三味線や鼓の音、独特の語りが印象的でした。衣装もとてもきれいでした。

会場内: 正面よりやや右

よりの後方2ヶ所に、車いすスペースが5人分ある。段差はないが、毛足が長めのカーペットを敷いているので、手動車いすでは少し動きにくい。

車いす: 男女別に4ヶ所

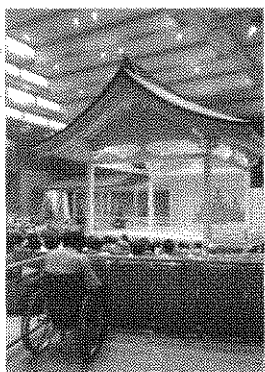
チケット: 一般自由席3500円。公演日の2ヶ月前の15日から、名古屋能楽堂、市内プレイガイド、チケットぴあで発売。

場所: 名古屋市中区三の丸1-1-1

地下鉄名城線「市役所」駅下車、徒歩5分

TEL 052-231-8064 FAX052-231-8756

<http://www.nagoyajo.naka.nagoya.jp/>



歌舞伎鑑賞

お次は、伏見の御園座での歌舞伎鑑賞のレポートです。

「吉例 顔見世興業」を見に行ってきました。9月頃の秋の公演をこう呼ぶようです。

今は亡き中村歌右衛門さんの

ご子息、中村魁春（かいしゅん）さんの襲名披露口上もありました。役者の皆さんで魁春さんをたたえ合い、お客さんよろしくと挨拶するのが、襲名口上のような感じでした。三部構成になっている、16時開演、20時40分終演の長丁場にとっても驚きました。観客は皆さん慣れているらしく、休憩時間に同じビルのレストランを事前に予約して食事をとっている人もいました。やは



り衣装がとても豪華でした。また、男の人なのにとってもキレイ…。生で一度見ることをお奨めします。

会場内: 1階の値段の高い車いす席（20,000円）までは段差がない。2階席はエレベータで上がり、更に階段があり、席の最前列も一段上がる必要がある。車いすスペースは1階のみ。

車いす: 1ヶ所

次回公演: 04年4月1日(木)～25(日)

「陽春花形歌舞伎」

チケット: 公演によって異なるが、今回は、一等席 14,000円 二等席 8,500円 三等席 4,500円 特別席 16,000円。公演日の前々月の25日(初日～13日)、27日(14日～千種楽)より電話にて予約受付。TEL052-222-1418

場所: 名古屋市中区栄1-6-14

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅下車、徒歩5分

TEL052-222-8222 FAX052-204-0523

<http://www.misonoza.co.jp/index.html>

.....

「FCからめ亭岡崎上地店」

昨年、愛知県の「人にやさしい街づくり賞」を受賞したあんかけスパゲティのお店『FCからめ亭岡崎上地店』取材し



てきました。ボリュームたっぷり、ちょっとからめのソースと太い麺が特徴です。麺のサイズがS、M、Lから選べます。種類がとても多くて、選ぶのが大変でした。

入口: 段差なし、自動ドア

店内: 段差なし、通路も広い、カウンターとイスが動くテーブル席あり

車いす: あり

場所: 岡崎市上地2-15-2

TEL・FAX 0564-71-1772

営業: 11:00～22:00



名駅にオープンした「ビックカメラ」

『ビックカメラ名古屋駅西店』へ行って来ました。店内は、場所によっては通路が狭いので、電動車いすの操作に自信のない人は少し移動が難しいかもしれない。人が多いせいもあって、店内は全体的に動きにくい印象。

エレベーター：身障仕様ではない。ドアの開閉が少し早いので、のんびりしていると乗り損ねる。

フロア：地下1階～6階までが売り場

- 6F 雑誌 宝飾 リラクゼーション
- 5F 家電 寝具 おもちゃ
- 4F パソコン プリンタ スキャナ メガネ
- 3F PC周辺機器 PCサプライ PCソフト PC書籍
スポーツ用品
- 2F テレビ ビデオ オーディオ 時計
- 1F デジタルカメラ 携帯電話 電話機/FAX ゲーム
CD/DVDソフト
- B1F カメラ 写真用品 DPE 酒

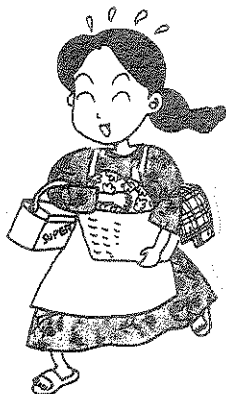
車いすトイレ：5階。トイレは店内の奥の方にあるので移動に時間がかかる。ドアは折り戸で、ちょっと重い。ウォッシュレット付。

場所：愛知県名古屋市中村区椿町6-9（名駅西側）
TEL 052-459-1111

営業：10：00～21：00 年中無休

交通：JR「名古屋駅」、近鉄名古屋線「近鉄名古屋駅」、名鉄名古屋本線「新名古屋駅」、地下鉄東山線 桜通線「名古屋駅」下車すぐ

<http://www.biccamera.com/bicbic/jsp/w/shopnews/nagoya/>



身体障害者スキー教室

日程：2月22日～2泊3日

場所：あさひプライムスキー場（長野県）

対象：身体障害者手帳を持つ16歳以上の人。

選考：25人。

料金：33,000円。

受付：1月6日まで

案内書の配布：区役所民生課、
障害者スポーツセンター

TEL 052-703-6066 FAX 052-704-8370



.....

障害者(児)

日常生活用具給付品目の変更

名古屋市の場合

★「視覚障害者用活字文書読み上げ装置」追加

給付限度額：115,000円

対象：視覚障害者2級以上の人
(学齢児以上に)

★「文字放送レコーダー」を「聴覚障害者用情報受信装置」に入れ替え

給付限度額：89,800円に変更。

対象：聴覚障害があり本装置でテレビ視聴が可能な方（ただし文字放送レコーダーの給付を受けて10年に満たない人を除く）

★12月15日～盲人用タイムスイッチ、盲人用はかりは制度からなくなりました。

.....

本のご紹介

『当事者主権』

中西正司 上野千鶴子著

本体700円 岩波新書 新赤版

出版社の内容紹介 ～障害者、女性、高齢者、子ども、不登校者、患者など社会的な弱者として「私のことは私が決める」という最も基本的なことを奪われてきた当事者たちが、近年、様々なところで発言し、社会を変革している。障害者自立生活運動を長年行ってきた中西氏と、高齢者女性の新たなネットワークを提唱している上野氏が、当事者運動の実際、そして可能性を熱く語る。

医療情報

以下、共同通信の記事より転記

細胞移植で脊髄損傷を治療、 関西医大、国内初実施へ

関西医大（大阪府守口市）の医学倫理委員会は10日までに、救急医学科の中谷壽男教授が申請していた、脊髄（せきずい）損傷の患者に本人の骨髄細胞を移植し、神経の再生を促す国内初の臨床研究計画を承認した。

京都大形成外科の鈴木義久助教授との共同研究。設備を整え、来年2月にも実施する。この方法は京大がラットの試験で効果を確かめた。骨髄中の間質細胞が損傷部に付着して特殊な物質を放出し、神経再生を促すとみられる。新たな外科手術が不要で患者の負担が軽く、本人の細胞を使うため拒絶反応がないのも利点という。交通事故などによる脊髄損傷患者は毎年全国で5000人以上と推計されているが、リハビリを続ける以外に根本的な治療法がないのが現状。中谷教授は「損傷の程度によって効果に差はあるだろうが、わずかな回復でも患者にとっては大きな意味がある」と話している。

■ 関西医科大学

TEL 06-6992-1001 FAX 06-6992-1409

<http://www.kmu.ac.jp/indexja.shtml>

筋ジスを合成DNAで治療 神戸大が世界初

神戸大医学部（神戸市）の松尾雅文教授らは28日、デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者に合成DNAを使った治療を29日から実施すると発表した。効果的な治療法が見つかっていないこの型の筋ジストロフィーの進行を食い止め、症状緩和を目指す世界初の試みという。

松尾教授によると、患者は小学4年男児（10）で、筋肉を形作るタンパク質「ジストロフィン」をつくる遺伝子が欠けているため、筋肉が衰え、現在は支えがあってようやく立てる状態という。

この治療法は、患者に人工合成したDNAを

1週間置きに計4回投与し、遺伝子の一部を改変することで、正常なジストロフィンと一部が違いますが、ほぼ同じ機能を持つジストロフィンをつくらせ、症状を軽くするという。神戸大医学部の倫理委員会は2000年3月、この治療の臨床研究を承認。松尾教授らは同年11月から治療を始める予定だったが、合成DNAに混入物がある疑いが浮上し、治療を延期していた。

■ 神戸大学医学部附属病院

TEL 078-382-5111（代表）

<http://pedata.med.kobe-u.ac.jp/>

.....

新幹線品川駅、開業！

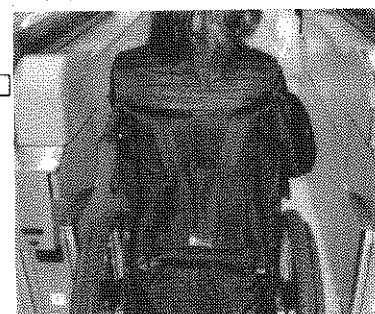
早速、利用してきました。感想から言うと、「やっと一緒になった」と言う印象。特別な道をいっさい通らず、特別なエレベータにも乗らずに自由に改札を出て、乗り換えができるのです。やはり、これからはこうでなくっちゃ！

安全策:のぞみ、ひかりの停車ホームには、安全策があり、列車の扉が開くと同時に安全策も自動的に開く仕組みです。



エスカレーター:幅の広いタイプが設置

エレベータ:誰でも自由に乗れるようになっています。



車いすトイレ:南口と北口の構内2カ所に、男女別にそれぞれ設置。

自動改札:車いすが充分通れる自動改札あり。自由度が増します。

乗り換え:東海道本線、横須賀線、山手線、京浜東北線が乗り入れているが、どれも自由に乗れるエレベータあり。

